

平成 28 年

消 防 年 報

平成29年度基本姿勢

「安全・安心な

地域づくりを目指し

創意工夫」

相馬地方広域消防本部

(平成29年6月刊行)

相馬地方広域消防訓

一 消防の使命に生きがいを感じ

民生の安定に寄与しよう

一 和衷協同して組織力の効率を高め

防災体制を確立しよう

一 広く消防情報を収集して

先見的業務を推進しよう

一 知と技を備え規律を厳正にして

親愛される消防人になろう

一 職員相互信頼のもと

明朗清新な職場環境をつくろう

目 次

総 括

一目統計	1
相馬地方広域市町村圏域の概要	2~3
相馬地方広域消防沿革	4~17
相馬地方広域消防歴代管理者・消防長等一覧表	18,19
相馬地方広域消防組織図	20
相馬地方広域消防現勢分布図	21
相馬地方広域市町村圏勢の推移	22
消防予算の推移	22
消防施設等整備状況	22
消防庁舎	23
職員配置状況	23
階級別年齢状況	24
職員市町村別居住状況	24
階級別・勤続年数別職員構成	25
年度別職員研修状況	26
職員特殊技能その他の資格取得状況	27
消防相互応援協定状況	28

予 防 統 計

防火対象物の現況	29
防火対象物立入検査状況	30
甲種防火管理者新規（再）講習実施状況	31
防火管理者の選任及び消防計画の届出状況	32
防火対象物定期点検報告制度実務状況	33
防火対象物階層別調	34
市町村別建築同意処理状況	35
年度別建築同意処理状況	35
用途別建築同意処理状況	36
消防用設備等の着工・設置届出件数	37
火災予防条例に基づく届出件数	38

危 険 物 統 計

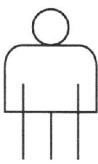
市町村別危険物施設数	39
数量別危険物施設数	40
類別危険物施設数	41
施設別許可・完成検査・廃止届出件数	42

火 災 統 計

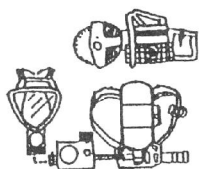
火災発生状況	43
市町村別発生件数	43
市町村別損害額	43
市町村別火災発生状況	44
月別火災発生状況	45
月別火災発生件数（グラフ）	46
覚知別火災件数（グラフ）	46
時間別火災発生件数（グラフ）	47

原因別火災件数（グラフ）	47
曜日別火災発生件数（グラフ）	48
過去 5 年間の火災発生状況	48
警 防 統 計	
消防活動状況(1)	49
消防活動状況(2)	50
消火活動状況	51
救助活動状況	52
訓練実施状況	53
消防車両の配置状況	54
消防資器材の保有状況	55~57
通信系統図	58
消防救急デジタル無線整備概要	59
通信施設状況	60
無線機配備状況(アナログ無線)	60
無線機配備状況(デジタル無線)	61,62
消防水利の現有状況	63
救 急 統 計	
相馬地方救急現勢分布図 救急出場件数及び搬送人員	64
救急隊別事故種別出場件数	65
傷病程度別搬送人員数	65
年齢区分別搬送人員数	65
曜日別出場件数	66
時間別出場件数	66
覚知別出場件数	66
救急隊員の行った応急処置状況	67
福島県ドクターヘリ要請概要	68
常磐自動車道事故対応状況	69~71
過去 10 年間の救急業務の推移	72
救命講習会の実施状況	73
消防団・関係団体等	
相馬地方広域市町村消防団の組織	74
階級別実員数	75
消防車両の現況	75
福島県消防協会相馬支部顧問	76
福島県消防協会相馬支部役員	76
消防関係団体等の結成状況	77~81
市町村別消防クラブ等結成状況	82

一 目 統 計

世 帯  一世帯当たり 2.62 人 人口 111,964 人 世帯 42,752	人口密度  1 km²当たり 128.3 人 面積 872.65 km²	消防費  住民 1 人当たり 12,608 円 当初予算 1,411,711 千円	消防職員  住民 766.9 人に 1 人 定員 148 人 実員 146 人	消防団員  住民 52.1 人に 1 人 定員 2,494 人 実員 2,148 人
---	--	---	---	--

火 災  7.3 日に 1 件 件数 50 件	火災1件当たりの損害額  1 件当たり 3,570 千円 損害額 178,518 千円	火災による死傷者  年間 2 人 死 者 0 人 負傷者 2 人
---	---	--

救急出場  1 日に 12.6 件 4,600 件	救助出動  6.2 日に 1 件 59 件	緊急通報受信回数  1 日に 19.9 回 7,246 回 (うち 119 は 6,756 回)
---	---	--

相馬地方広域市町村圏域の概要

1 圏域の構成

当圏域は、相馬市・南相馬市（旧原町市、旧小高町、旧鹿島町が合併）を中心に、新地町・飯舘村の2市1町1村をもって構成し、その圏域は東西に33km、南北に44km、総面積872.65㎢、人口は111,964人（平成29年4月1日現在）である。

また、この圏域は、過去相馬藩6万石の領地として22代続いた歴史ある地域であり、運命共同体的な意識の強いところである。

有名な相馬地方民謡の宝庫であるとともに、「世界一の馬の祭典」ともいわれ、一千有余年の歴史と伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の「相馬野馬追」は、全国に名をはせた祭りであり、毎年南相馬市を中心として7月最終土、日、月の3日間、圏域内市町村が一体となって執行されている祭典は、広域行政システムの創始といっても過言ではない。

2 圏域の位置・環境

当圏域は、福島県の太平洋沿い北端部に位置し、圏域中心都市の相馬市、南相馬市から県都福島市まで約60km、仙台市まで60～80kmの距離にある。

地形は、圏域西部を南北に縦走する阿武隈高地が尾根となり、この尾根から丘陵が複雑に東走し、一部は海岸まで達している。東走する丘陵の間には河川が東流し、その流域にはそれぞれデルタ状の平地が形成され、市街地集落と耕地が展開している。

太平洋沿岸は単調な南北線で形成され、比較的遠浅の海のため、夏には海水浴、潮干狩り、キャンプなどの観光客で賑わう一方、近海魚の豊富な漁場がある。

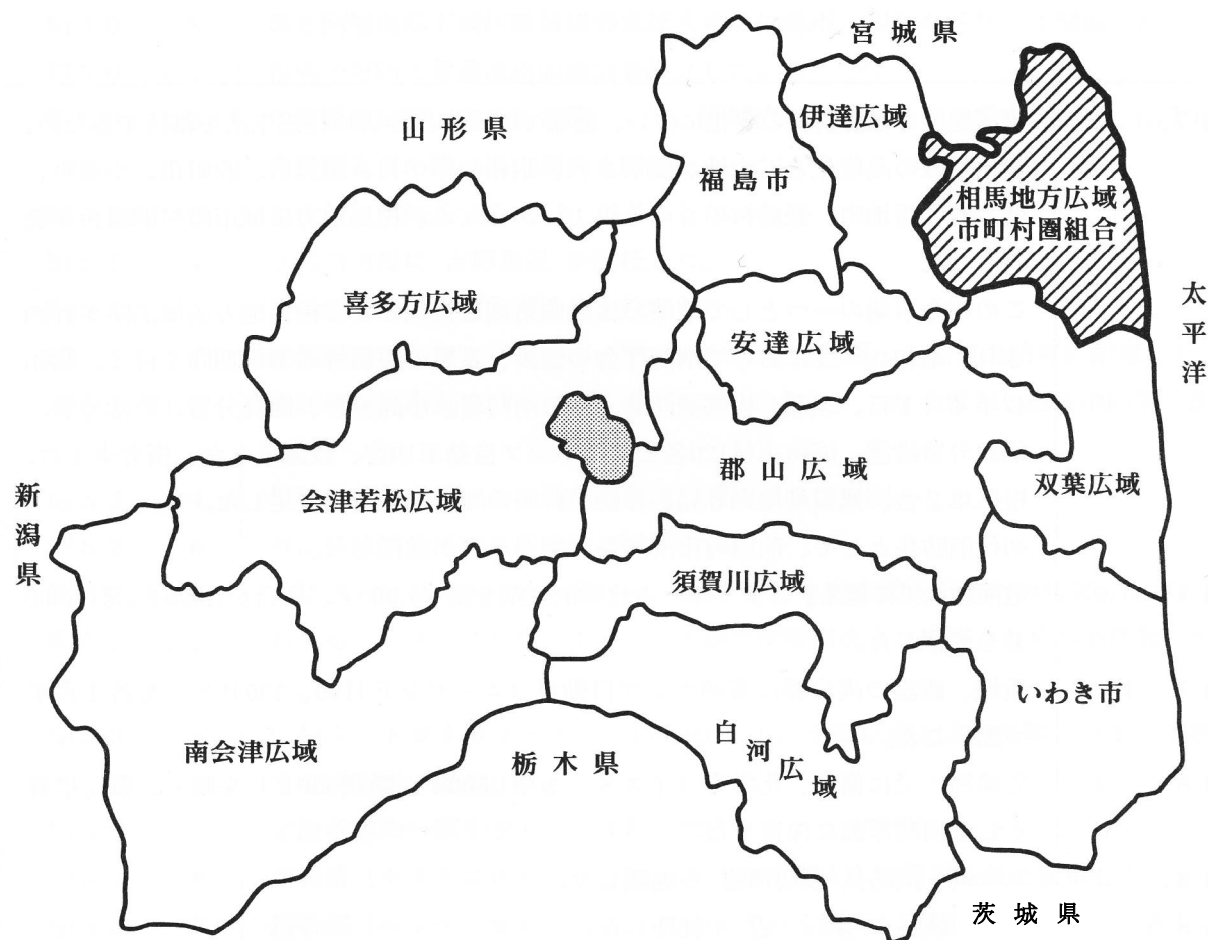
昭和58年から相馬市と新地町を対象に、地域振興整備公団の事業として、相馬中核及び内陸工業団地の整備が行われ、大中小様々な企業の工場が誘致されており、その一つに日本を代表する航空宇宙産業の企業や最先端の化学工場などが稼動している。

また、福島県浜通り一帯は電源基地となっており、新地町では、平成6年から火力発電所（1・2号機）が、続いて平成9年からは南相馬市（旧原町市）でも火力発電所（1・2号機）の運転が開始され、当圏域も電源供給の一翼を担う地域となっている。

3 東日本大震災の影響

平成23年3月11日に発生した東日本大震災（平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震）では、震度6強の強い地震と大津波が太平洋沿岸部を襲い、当地方の沿岸部は壊滅状態となり、多くの尊い命が奪われた。さらには東京電力福島第一原子力発電所事故が発生し、大量の放射性物質が放出されるなど世界でも類を見ない原子力災害となり、当地方の一部は避難指示区域となった。現在も南相馬市の一部及び飯舘村全域が「帰宅困難区域」、「居住制限区域」、「避難指示解除準備区域」とされ、多くの住民が避難生活を余儀なくされているが、平成27年3月に常磐自動車道が全線開通となり、被災地の復興が加速されることを期待している。

4 位置図及び県内消防本部管轄区域



5 圏域の面積、世帯数、人口

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区分 市町村		面積 (km ²)	世 帯 数	人 口		
				男	女	計
相 馬 市		197.67	14,352	17,619	17,990	35,609
南 相 馬 市	原 町 区	198.49	17,017	21,196	21,284	42,480
	小 高 区	91.95	3,019	4,364	4,712	9,076
	鹿 島 区	108.06	3,686	5,319	5,395	10,714
	計	398.50	23,779	30,879	31,391	62,270
新 地 町		46.35	2,824	4,016	4,056	8,072
飯 舘 村		230.13	1,797	2,978	3,035	6,013
合 計		872.65	42,752	55,492	56,472	111,964

※ 人口及び世帯数は住民基本台帳に基づく。

相馬地方広域消防沿革

昭和47.	4	相馬市、原町市、小高町、鹿島町、新地町、飯舘村の2市3町1村からなる相馬地方広域消防が発足、1本部、2署4分署を設置する。 消防職員120名 消防ポンプ自動車10台 救急自動車3台 指令車1台 指揮車2台 無線局6局 移動局17局 初代消防長に渡邊清憲が就任する。 9 化学消火剤（エアフォーム）を2,000㍓備蓄する。 11 消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）2台を購入し、新地分署、飯舘分署に配置する。	1972
昭和48.	2	危険物火災に備え、化学消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽1,500㍓、薬槽500㍓）を購入し、消防本部に配置する。 4 第2代消防長に岸 近が就任する。 原町消防署が橋本町から、消防本部へ移転併設となる。 双葉地方広域市町村圏組合と消防相互応援協定を締結する。 消防本部内の機構改革を行い、庶務係を総務係に、警防救急係を警防係に名称を変更する。 6 指揮車（ニッサンブルーバードU）5台を購入し、相馬消防署、小高分署、鹿島分署、新地分署、飯舘分署に配置する。 原町消防署にマイクロ型救急自動車を配置する。 9 飯舘分署に救急自動車を配置する。 伊達地方消防組合と消防相互応援協定を締結する。 消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）を購入し、鹿島分署に配置する。	1973
昭和49.	1	亘理地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結する。 6 仙南地域広域行政事務組合と消防相互応援協定を締結する。 8 第24回福島県水防演習が鹿島町の真野川にて実施される。 空気充填機1台を購入し、消防本部に設置する。 9 昭和49年度福島県総合防災訓練が原町市で実施される。 12 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽2,000㍓）1台を購入し、相馬消防署に配置する。	1974
昭和50.	8	第5回福島県下消防職員親善卓球大会を相馬市（相馬女子高）で開催する。 11 相馬地方防火管理連絡協議会が設立される。 12 民間クレーン業者（松島、山王）と協力契約する。	1975
昭和51.	4	第3代消防長に吉田嘉基が就任する。 相馬地方消防設備保守協会が設立される。 7 指揮車（ニッサンブルーバード）を購入し、原町消防署に配置する。 10 消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）を購入し、相馬消防署に配置する。	1976
昭和52.	4	消防本部の機構改革で、総務課、消防課の2課制とする。 6 救助訓練塔を消防本部前庭に仮設する。 10 消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）を購入し、原町消防署に配置する。 12 日本損害保険協会より救急自動車（トヨタ2B型）が寄贈され、相馬消防署に配置	1977

する。

昭和53.	5	東京海上火災保険会社より広報車（トヨタカリーナバン）が寄贈され、 原町消防署に配置する。	1978
	7	職員定数条例の一部を改正、3名の増員を図り123名とする。	
	8	広報車1台（トヨタコロナバン）を購入し相馬消防署に配置する。 指令車（ニッサンセドリック）を購入し、消防本部に配置する。	
	9	救急自動車（トヨタ2B型）を購入し、原町消防署に配置する。	
	11	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽2,000ℓ）を購入し、小高分署に配置する。	
昭和54.	10	新地分署庁舎の事務室（42㎡）を増築する。 相馬地方広域消防検閲式を実施する。	1979
	11	相馬地方少年婦人防火委員会が設立された。	
	12	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽2,000ℓ）1台、消防ポンプ自動車2台を 購入し、水槽付消防ポンプ自動車を鹿島分署に、消防ポンプ自動車を相馬消防署と 原町消防署に配置する。	
昭和55.	4	第4代消防長に泉 茂が就任する。 職員定数条例を一部改正、1名の増員をはかり124名とする。	1980
	8	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（トヨタランドクルーザーA1級）が寄贈さ れ、原町消防署に配置する。	
	9	昭和55年度福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。	
	11	日本防火協会より相馬地方婦人防火クラブに防火広報車（ニッサンキャラバン）が 寄贈される。 相馬地方広域消防検閲式を実施する。	
昭和56.	2	圏域内関係者と相馬地方広域消防の間で、ガス漏れ及び爆発事故防止対 策に関する覚書を締結する。 日本損害保険協会より救急自動車（トヨタ2B型）が寄贈され、飯館分署に配置する。	1981
	3	福島県共済農業協同組合連合会より救急自動車（ニッサン2B型）が寄贈され、原町 消防署に配置する。	
	6	相馬郡医師会の協力により救急I課程講習会を開催、職員45名、双葉広域消防職員 17名が受講し資格を取得する。	
	7	職員定数条例を一部改正、2名を増員し126名とする。	
	10	第9回福島県下消防職員親善剣道大会を原町市（県営原町体育館）で開催する。	
	11	消防器具搬送車（いすゞバン）2台、査察車（ニッサンパルサー）1台を購入し、相馬 消防署、原町消防署に器具搬送車、消防本部に査察車を配置する。 昭和56年度福島県相双地方防災訓練を小高町で実施する。	
昭和57.	4	職員定数条例を一部改正、2名増員し128名とする。	1982
	6	指揮兼広報車（ニッサンパルサー）2台を購入し、相馬消防署、鹿島分署に配置する。	
	9	昭和57年度福島県総合防災訓練が原町市で実施される。	
	10	消防ポンプ自動車（ニッサンBD1型）を2台購入し、新地分署、飯館分署に配置す る。	
昭和58.	4	第5代消防長に吉田信雄が就任する。	1983
	6	指揮兼広報車（ニッサンパルサー）2台を購入し、原町消防署、飯館分署に配置（更	

新)する。

- 9 救急自動車（トヨタ 2 B 型）を購入し相馬消防署に配置(更新)する。
- 1 2 昭和 5 8 年度福島県相双地方防災訓練が鹿島町で実施される。
山之内製薬株式会社より救急自動車(ニッサン 2 B 型) 1 台が寄贈され、小高分署に配置する。
小高分署で救急業務を開始する。

昭和 5 9 .	1	消防無線電話基地局 2 基（新地分署、飯館分署）、移動局 1 基、携帯局 1 0 基を整備する。	1984
	2	相馬地方婦人消防大会が小高町で開催される。	
	6	鹿島町藤加工所より救難用ゴムボートが寄贈され、鹿島分署に配置する。 相馬地方広域消防職員観閲式を実施する。	
	1 0	救急自動車（トヨタ 2 B 型）を 1 台購入し、鹿島分署に配置する。 鹿島分署で救急業務を開始する。	
	1 1	消防ポンプ自動車（トヨタ B D 1 型）を購入し、鹿島分署に配置（更新）する。	
昭和 6 0 .	2	日本自動車工業会より救急自動車（トヨタ 2 B 型）が寄贈され、新地分署に配置する。 新地分署で救急業務を開始する。	1985
	4	組織機構改革し、相馬消防署に鹿島分署、新地分署を、原町消防署に小高分署、飯館分署を編入する。 職員定数条例を一部改正、2 名の増員を図り 1 3 0 名とする。	
	8	救命ボートを購入し、相馬消防署に配置する。	
	1 1	相馬地方幼年消防大会が原町市（県営原町体育館）で開催される。	
	1 2	指令車（ニッサンローレル）を購入し、消防本部に配置（更新）する。 指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、原町消防署に配置(更新)する。	
昭和 6 1 .	8	日本消防協会より救急自動車（トヨタ 2 B 型）が寄贈され、原町消防署に配置する。	1986
昭和 6 2 .	1	消防無線電話 2 基購入、救急自動車（原町消防署）、器具搬送車(相馬消防署) に配置する。 相馬地方奥様防災博士連絡協議会が設立される。	1987
	3	消防本部前庭に救助訓練塔を設置する。	
	4	第 6 代消防長に鈴木一男が就任する。	
	8	第 17 回福島県下消防職員親善卓球大会が原町市（県営原町体育館）で開催される。	
	1 0	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、相馬消防署に配置(更新)する。	
	1 1	消防無線電話移動局 3 基購入、指揮車(原町消防署)、器具搬送車（原町消防署）、水槽付消防ポンプ自動車(鹿島分署)に装備する。	
昭和 6 3 .	1	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽 2, 000 ㍓）を購入し、相馬消防署に配置(更新)する。	1988
	3	相馬地方危険物安全協会が設立される。	
	8	相馬消防署新地分署車庫に防寒防犯のためのシャッターを取り付ける。	
	1 0	原町市幼年消防大会が県営原町体育館で開催される。 相馬地方婦人消防隊連絡協議会が設立される。	

	1 1	福島県相双地方総合防災訓練が飯舘村で実施される。	
	1 2	救助工作車（いすゞⅡ型）を購入し、原町消防署に配置（新規）する。	
平成 元.	3	福島県共済農業協同組合連合会より救急自動車（ニッサン 2 B 型）が寄贈され、原町消防署に配置する。	1989
	5	第 4 2 回福島県下消防大会が原町市で開催される。	
	6	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）2 台を購入し、相馬消防署新地分署、原町消防署小高分署に配置(更新)する。	
	8	財団法人日本消防協会より指揮兼広報車が寄贈され、消防本部に配置する。	
平成 2.	2	消防無線電話移動局 2 基購入し、水槽付消防ポンプ自動車（相馬消防署）と指揮兼広報車（相馬消防署鹿島分署）に配置する。	1990
	3	財団法人日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱、水槽 2,000 ㍓）が寄贈され、原町消防署に配置（更新）する。	
	4	第 7 代消防長に佐藤芳夫が就任する。	
	7	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）2 台を購入し、相馬消防署、原町消防署飯舘分署に配置(更新)する。	
	8	平成 2 年度福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。	
	9	財団法人日本防火協会より防火広報車（ニッサンキャラバン）が寄贈され、消防本部に配置する。	
		救急自動車（2 B 型 4 WD）を購入し、原町消防署飯舘分署に配置（更新）する。	
	1 0	第 9 回県下消防職員親善野球大会が原町市で開催される。	
	1 1	相馬地方母と子の防火大会が原町市（県営原町体育館）で開催される。	
平成 3.	6	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、相馬消防署鹿島分署に配置（更新）する。	1991
	1 0	救助工作車（三菱Ⅱ型）を購入し、相馬消防署に配置（新規）する。	
平成 4.	2	相馬地方消防設備保守協会 1 5 周年記念式典が原町市で開催される。	1992
		福島総合警備保障株式会社より防火広報車 1 台が寄贈され、原町消防署に配置する。	
	4	職員定数条例を一部改正、3 名を増員し 1 3 3 名とする。	
	6	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、消防本部に配置する。	
		消防本部指揮兼広報車を原町消防署に配置替えする。	
	8	平成 4 年度福島県総合防災訓練が原町市で実施される。	
	1 0	消防ポンプ自動車（三菱 C D 1 型）2 台を購入し、相馬消防署、原町消防署に配置(更新)する。	
		消防無線電話移動局 5 基を購入し装備する。	
	1 1	完全週休 2 日制の実施を開始する。	
	1 2	3 0 日相馬消防署勤務の大井利文消防司令補が救急現場にて殉職する。	
平成 5.	1	故大井利文消防司令長の相馬地方広域市町村圏組合告別式が鹿島町勝縁寺で執り行われる。	1993
	2	高圧空気充填機を購入し、消防本部に配備する。	
		日本自動車工業会より救急自動車（ニッサン 2 B 型 4 WD）が寄贈され、相馬消防署に配車(更新)する。	
	3	高度救急資器材一式を購入し、原町消防署に配備する。	

		4	第8代消防長に只野清治が就任する。 職員定数条例を一部改正、8名増員し141名とする。	
		7	高度救急資器材一式を購入し、相馬消防署に配備する。 救助隊管理者査閲を実施する。	
		10	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置する。 化学消防ポンプ自動車（三菱Ⅱ型、水槽1,300ℓ、泡原液500ℓ）を購入し、原町消防署に配置(更新)する。 平成5年度福島県相双地方総合防災訓練が新地町で実施される。	
		12	原町消防署に緊急自動車出動表示灯を設置する。	
平成	6.	1	救急自動車(ニッサン2B型4WD)を購入し、原町消防署小高分署に配置(更新)する。	1994
		3	消防無線電話基地局1基、携帯無線局3基を更新配備する。	
		4	職員定数条例を一部改正、6名増員し147名とする。	
		10	水槽付消防ポンプ自動車（三菱、水槽2,000ℓ）を購入し、原町消防署小高分署に配置(更新)する。 消防ポンプ自動車(三菱CD-1型)を購入し、相馬消防署に配置(更新)する。	
		12	故大井利文消防司令長の顕彰碑を建立する。	
平成	7.	2	高度救急資器材一式を購入し、原町消防署飯舘分署に配備する。 消防無線電話移動局3基、携帯無線局3基を更新装備する。	1995
		4	救急救命士（草刈 薫）第1号が誕生する。	
		8	第20回県下消防職員予防、警防、救急実務研究会が開催される。	
		10	平成7年度福島県相双地方総合防災訓練が小高町で実施される。 水槽付消防ポンプ自動車（日野、水槽2,000ℓ）を購入し、相馬消防署鹿島分署に配置（更新）する。 消防ポンプ自動車（三菱CD1型）を購入し、原町消防署小高分署に配置（更新）する。 高度救急資器材一式を購入し、原町消防署小高分署に配備する。	
		12	福島県緊急消防援助隊を編成する。	
平成	8.	2	消防無線電話基地局2基、移動無線局2基、携帯無線局3基を購入し、更新配備する。	1996
		4	第9代消防長に新谷榮正が就任する。 消防本部の機構改革を実施し、総務課に総務係と企画調整係、予防課に予防係と危険物係、警防課に警防救急係と通信指令係を設け3課6係とする。 救急救命士に1人（菅野忠孝）が合格、計2人となる。	
		6	永井清美氏(相馬市)を第1号民間応急手当指導員に認定する。	
		7	相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。	
		9	救急応急手当指導発表会を開催する。	
		11	第12回福島県防火大会が原町市で開催される。 平成8年度福島県相双地方総合防災訓練が鹿島町で実施される。 消防ポンプ自動車（三菱CD1型）2台を購入し、原町消防署、相馬消防署新地分署に配置(更新)する。	

救急救命士に2人（高倉健一、小谷津芳秀）が合格、計4人となる。
相馬（市）消防署発足40周年。

1997

- 平成 9. 2 消防無線電話基地局1基、移動無線局3基、携帯無線局3基を購入し、更新配備する。
救急自動車（ニッサン2B型）を購入し、相馬消防署鹿島分署に配置（更新）する。
- 3 高度救急資器材一式を購入し、相馬消防署鹿島分署に配備する。
- 5 福島県共済農業協同組合連合会より、救急自動車（トヨタ2B型）1台が寄贈され、相馬消防署新地分署に配置する。
- 6 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
- 10 高度救急資器材一式を購入し、相馬消防署新地分署に配備（更新）する。
- 11 消防本部旗が寄贈される。
消防ポンプ自動車（三菱CD1型）2台を購入し、相馬消防署鹿島分署、原町消防署飯館分署に配置（更新）する。
救急救命士に1人（太田秀明）が合格、計5人となる。

1998

- 平成 10. 1 消防無線電話基地局1基、移動無線局3基、携帯無線局3基を購入し、更新配備する。
福島県消防防災航空隊員として1名（高橋友幸）を事前派遣する。
- 4 職員定数条例を一部改正、1名増員し148名とする。
福島県消防防災航空隊員として1名（高橋友幸）を派遣する。
相馬地方広域市町村圏組合職員章が制定され、全職員に貸与する。
- 5 第51回福島県下消防大会が相馬市で開催される。
- 6 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
- 7 救急救命士に1人（河村幸一郎）が合格し、計6人となる。
- 9 救急救命シミュレーション発表会を原町市で開催する。
指揮兼広報車（トヨタカラーバン）2台を購入し、相馬消防署、原町消防署に配置（更新）する。
- 10 応急手当指導員養成講習会を開催、職員全員が資格を取得する。
- 11 救急救命士に1人（高原和博）が合格、計7人となる。
- 12 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）、高度訓練用救急資器材一式を購入し、原町消防署に配置、運用を開始する。
消防無線電話全局の呼び出し名称を改正、運用開始する。

1999

- 平成 11. 4 第10代消防長に萩原勝が就任する。
救急救命士に1人（五賀和広）が合格、計8人となる。
- 6 指揮兼広報車（ホンダパートナー4WD）2台を購入し、相馬消防署新地分署、原町消防署小高分署に配置（更新）する。
相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
連絡車（ホンダライフ）を購入し、消防本部に配置（新規）する。
- 8 ポケットベルを全職員が携帯し、運用を開始する。
- 9 福島県消防緊急援助隊集結野営訓練に消火部隊1隊が参加する。
第1回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 10 第19回全国豊かな海づくり大会が相馬市で開催され、消防特別警備隊を編成する。

平成 1 1 年度福島県相双地方総合防災訓練が飯舘村で実施される。

- 1 2 新地分署に出動表示灯を設置する。

コンピューター西暦 2000 年問題に係る危機管理体制を配備する。

2000

- 平成 1 2 . 1 火災撲滅運動の一環として、相馬地方全世帯に「無火災宣言の家」ステッカーを配布する。
- 3 消防無線電話中継施設を鹿島町に設置し、不感地帯の解消を図る。
財団法人日本消防協会から救急自動車（ニッサン 2 B 型）が寄贈され、原町消防署飯舘分署に配置（更新）する。
- 4 第 1 1 代消防長に米山光喜が就任する。
財団法人日本消防協会に実務研修として 1 年間、職員 1 名（高野孝一）を派遣する。
- 6 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
- 7 指揮兼広報車（ホンダパートナー 4 WD）2 台を購入し、相馬消防署、原町消防署飯舘分署に配置（更新）する。
あぶくま信用金庫 5 0 周年記念事業で、心肺蘇生法訓練用人形 6 体が寄贈される。
- 8 平成 1 2 年度福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。
- 9 第 2 回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 1 0 社団法人日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車（三菱）が寄贈され、相馬消防署に配置（新規）する。
- 1 2 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）と高度訓練用救急資器材一式を購入し、相馬消防署に配置する。

2001

- 平成 1 3 . 2 救急救命士に 1 人（米本民男）が合格、計 9 人となる。
- 3 相馬消防署に車庫を新築する。
- 4 機構改革により 4 分署の副分署長制を廃止、当直司令 2 名体制とする。
- 5 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
飯舘村建物火災を福島県消防防災ヘリコプターが発見、通報する。
- 6 指揮兼広報車（ホンダシビック、パートナー 4 WD）3 台を購入し、消防本部、原町消防署、相馬消防署鹿島分署に配置（更新）する。
- 9 第 4 1 回福島県消防協会相馬支部幹部大会の席上、消防団幹部（班長以上の階級で 3 年以上勤続者）に防火管理者認定証を交付する。
第 3 回救急シンポジウムを原町市（サンライフ原町）で開催する。
- 1 0 第 2 0 回福島県下消防職員親善野球大会が鹿島町で開催される。
- 1 1 原町市立病院から福島県立医大まで、福島県消防防災ヘリコプターにより救急患者を初めて搬送する。
福島県消防防災ヘリコプターによる救急患者搬送現場検証訓練を実施する。

2002

- 平成 1 4 . 1 相馬消防署に出動表示灯を設置する。
- 4 救急救命士 1 人（佐々木弘光）が合格、計 1 0 人となる。
- 5 相馬地方広域消防発足 3 0 周年記念管理者査閲を実施する。
災害用エア Tent を購入し、消防本部に配備する。
- 9 第 4 回救急シンポジウムを相馬市（はまなす館）で開催する。
救急自動車（トヨタ 2 B 型 4 WD）を購入、原町消防署に配置（更新）する。
- 1 0 平成 1 4 年度相双地方総合防災訓練が新地町で実施される。

- 1 1 相馬地方自主防災組織推進大会を原町市スポーツセンターで開催する。
相馬地方広域消防 30 周年式典を原町市で開催する。
相馬地方広域消防発足 30 周年記念誌「相馬広域消防のあゆみ」を発刊する。

2003

- 平成 15. 1 相馬地方広域消防水難救助隊が 37 名で発足する。
- 2 水難救助隊用ウェットスーツ 6 着他水難救助用資機材を購入、相馬、原町両署に配備する。
- 4 第 12 代消防長に木村健次郎が就任する。
福島県消防防災航空隊に消防士長 武田真弘を派遣する。
救急救命士 1 人（大河内敏栄）が合格、計 11 人となる。
- 5 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
- 7 災害救援車（ニッサンシビリアン）を購入し、消防本部に配置する。
双葉地方広域市町村圏組合消防本部と合同研修会を開催する。
- 8 福島県緊急消防援助隊集結訓練、福島県総合防災訓練が原町市で開催される。
- 9 第 5 回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 10 パソコンによる消防ネットワークシステムの運用を開始する。
- 11 福島県消防長会主催第 1 回消防職員駅伝大会で当本部が優勝する。

2004

- 平成 16. 3 現場指揮に関する職員研修会を開催する。
- 5 救急救命士に 1 人（大洲紀一）が合格、計 12 名となる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
- 7 双葉地方広域市町村圏組合消防本部と合同研修会を浪江町で開催する。
- 9 第 6 回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 10 新潟中越地震災害に緊急消防援助隊 2 隊 7 名が初出動する。
原町消防署飯舘分署に高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を配置（新規）する。
- 11 救急救命士に 1 人（庄司智久）が合格、計 13 人となる。
福島県消防長会主催第 2 回消防職員駅伝大会で当本部が優勝する。

2005

- 平成 17. 2 福島県消防職員意見発表大会で林貴之副士長が最優秀賞となる。
- 4 第 13 代消防長に渡部和俊が就任する。
福島県消防防災航空隊に消防士長 小林友樹を派遣する。
「焼死者火災多発警報」を発令し特別警戒体制をとる。
（3 月から 4 月に火災多発、死者 7 名、火傷者 4 名）
救急救命士に 1 人（小泉英明）が合格、計 14 名となる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
- 7 相馬地方震災対策推進会議を開催する。
- 8 16 日宮城県沖を震源とする震度 5 強の地震発生により非常配備体制を発令する。
- 9 第 7 回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 10 救助工作車（日野）を購入し、原町消防署に配置する。
相馬、双葉職員合同研修及び交流会を実施する。
- 11 仙台市から「地震防災アドバイザー」京栄二郎氏を講師に招き防災講演会を開催する。
救急救命士に 1 人（志賀 毅）が合格、計 15 名となる。
- 12 水槽付消防ポンプ自動車（日野、水槽 2,000 ㍓）を購入し、相馬消防署に配置する。

2006

- 平成 18. 1 原町市、小高町、鹿島町が合併して南相馬市が誕生したことにより

原町消防署の名称が南相馬消防署に変更される。

また、南相馬消防署所轄の分署とともにその名称も変更される。

南相馬消防署小高分署、南相馬消防署鹿島分署、南相馬消防署飯館分署

- 2 携帯 119 番の受信を開始する。
- 3 河村幸一郎救命士が薬剤投与実施の救命士に認定第 1 号となる。
庄司智久救命士が気管挿管病院の実習を修了第 1 号となる。
- 4 講師を招き職員教養（原子力防災について）を南相馬市鹿島区で開催する。
救急救命士に 1 人（岡 裕一）が合格、計 16 名となる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
相馬地方防火安全協会が結成発足される。
- 9 第 8 回救急シンポジウムを相馬市で開催する。
- 10 双葉地方広域市町村圏組合消防本部と合同研修会を浪江町で開催する。
- 11 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、南相馬消防署小高分署に配置する。

平成 19.	2	住宅用火災警報器設置推進大会を南相馬市鹿島区で開催する。	2007
	4	救急救命士に 2 人（濱名 修、梅田真史）が合格、計 18 名となる。	
	5	福島県消防殉職者慰霊祭及び第 60 回福島県消防大会が南相馬市で開催される。 平成 19 年度福島県水防訓練が南相馬市鹿島区（真野川河川敷）で実施される。	
	6	相馬地方広域消防検閲式を実施する。	
	8	地震災害対応訓練を実施する。	
	9	第 9 回救急シンポジウムを南相馬市で開催する。 指令車（トヨタプリウス）を購入し、消防本部に配置（更新）する。	

平成 20.	1	福島県ドクターヘリが運用開始され、当本部管内の労災事故で県内 初出動の要請となる。	2008
	2	水槽付消防ポンプ自動車（日野、水槽 2,000 ㍓）を購入し南相馬消防署に配置（更新） する。 内外部講師による職員研修を南相馬市鹿島区で開催する。	
	4	第 14 代消防長に井上秀雄が就任する。 救急救命士に 2 人（鈴木伸洋、田村英二）が合格、計 20 名となる。 化学災害対応のため活動要領と防護資機材の取り扱いについて研修会を 2 回実施する。	
	6	相馬地方広域消防検閲式を実施する。 14 日午前 8 時 43 分に岩手・宮城内陸地震（震度 6 強）が発生し、緊急消防援助隊 （4 隊 15 名）が岩手県一関市（1 泊）へ出動する。	
	7	24 日午前 0 時 26 分に岩手県沿岸北部地震（震度 6 強）が発生し、緊急消防援助隊 （2 隊 7 名）が岩手県盛岡市へ出動する。 地震当日開催予定の第 37 回東北支部消防救助技術指導会（青森市）が、地震発生のため中止となり、参加予定のロープブリッジ救出チームが青森市から帰ることとなる。 相馬地方震災対策推進会議を開催する。	
	9	第 10 回救急シンポジウムを南相馬市鹿島区で開催する。	
	12	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、南相馬消防署鹿島分署に配置する。	

- 平成 21. 2 (財) 日本消防協会理事長秋本敏文氏(元消防庁長官)を招き、消防職団員を対象とした防災講演会が開催される。
- 3 第15代消防長に森茂雄が就任する。
福島県消防防災航空隊に消防士長 中里岳文を派遣する。
㈱近代消防社代表取締役三井栄志氏を招き、消防職員研修会(防災講演)及び防災懇談会(近代消防掲載記事インタビュー)を開催する。
救急OAシステムが導入され運用開始する。
救急救命士に2人(菅野茂則、菊地隆史)が合格、計22名となる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を計画したが、雨により中止となる。
- 8 消防ネットワークシステムのサーバー1台を更新、1台増台し2台で運用する。
- 9 第11回救急シンポジウムを相馬市で開催する。

- 平成 22. 1 相馬消防署新庁舎の落成式(20日)及び開署式(22日)が挙行される。
※平成21年3月27日着工、平成21年12月28日竣工
- 2 消防ポンプ自動車(日野)を購入し、南相馬消防署に配置(更新)する。
- 3 南相馬消防署小高分署新庁舎の落成式(27日)及び開署式(30日)が挙行される。
※平成21年5月29日着工、平成22年2月23日竣工
- 4 第16代消防長に山田 敏が就任する。
救急救命士に2人(杉 幸一、渡邊 亮)が合格、更に、専門学校で養成を受けた後に消防職員を拝命した1人(桑折健志)が合格し、計25名となる。
- 6 高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)を購入し、南相馬消防署に配置(更新)する。
相馬地方広域消防検閲式を計画したが、雨により延期する。
- 9 福島県緊急消防援助隊集結訓練、福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。
第12回救急シンポジウムを南相馬市で開催する。
- 10 福島県相双地方(新地町)総合防災訓練が新地町役場周辺で開催される。
- 11 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
北海道・東北ブロック緊急消防援助隊訓練が郡山市で開催される。
住宅防火対策推進シンポジウムを南相馬市鹿島区のさくらホールにおいて開催する。

- 平成 23. 1 高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し、相馬消防署新地分署に配置(更新)する。これで、全所属に高規格救急自動車が配備となる。
- 2 新潟県小千谷市消防団長金子正男氏を招き、消防職団員を対象とした防災講演会を開催する。
- 3 11日(金)14:46東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生
14:49~大津波警報発令、15:40~大津波発生(相馬市9.3m)
※震源地~三陸(牡鹿半島)沖約130km、深さ24km、マグニチュード9.0、
震度~新地町6強、相馬市・南相馬市・飯館村6弱(最高震度~栗原市7)
各地で死傷者が発生し、緊急消防援助隊、県内応援隊を要請する。
地震と津波の影響で東京電力福島第一原子力発電所が水素爆発を起こし、放射性物質が大気中に放出されたことにより、当該発電所から半径20km圏内(南相馬市小高区、南相馬市原町区の一部)が避難指示となり、南相馬消防署小高分署は、その機能

を南相馬消防署へ移転する。

20から30km圏内が屋内退避となる。

- 4 救急救命士（横山良平）が合格し、計26名となる。

退職予定の所属長4名（加藤警防課長、齋藤相馬署長、佐藤南相馬署長、森小高分署長）は大地震のため、嘱託職員としてさらに2ヶ月間雇用することとなった。

計画的避難区域に飯舘村全域が、緊急避難準備区域に20Kmから30Km圏内が設定される。

- 5 嘱託職員4名の離任式を行う。

- 6 平成23年度相馬地方広域消防辞令交付式を行う。

救助工作車（相馬消防署）・高規格救急自動車（横浜市長から寄贈（無償譲渡））の交付・配車式を行う。

- 8 ㈱タダノよりクレーン付4tトラックが寄贈され消防本部に配置する。

- 9 東日本大震災により平成23年救急救命士国家試験を受験できなかった者に対しての追加試験があり、救急救命士（遠藤洋）が合格し、計27名となる。

30日「緊急時避難準備区域」が解除される。

- 10 東日本大震災に伴う消防活動検証の結果を消防長に答申する。

- 12 相馬地方地震対策計画の一部を見直す。

平成24. 1 18日東日本大震災福島県消防殉職者慰霊祭が南相馬市民会館「ゆめ

2012

はっと」で開催される。

- 2 児玉龍彦東京大学教授を招いて「放射線と健康障害」の職員研修を原町区福祉会館で開催する。

- 3 相馬地方地震対策計画に基づく地震対策訓練を実施する。

- 4 職員定数条例を一部改正し、消防職員定数152名とする。

新規採用職員で、初の女性消防職員1名（救急救命士の資格有）が採用され、救急救命士が計28名となる。

3月28日にJA共済連福島より高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、相馬消防署に配置する。

8日に常磐自動車道の南相馬ICと相馬IC間が開通となる。

16日に小高区の警戒区域解除、避難指示区域の見直しにより、昨年3月14日から閉庁していた南相馬消防署小高分署の通常業務を開始する。

福島県消防学校へ教官として櫻井正貴消防士長を派遣する。平成26年3月31日まで）

- 5 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し、大津波で全損した相馬消防署高規格救急自動車に替え配置（更新）する。

横浜市長から寄贈（無償譲渡）された高規格救急自動車を消防本部に予備車として配置する。尚、平成24年度から常磐自動車道の一部開通により、高速道路救急対応救急車1台増車・救急隊1隊増隊し、救急車9台（本部配置予備車1台含む）、救急隊8隊（相馬消防署は救急隊1隊から2隊に増隊）による運用となる。

- 7 17日に飯舘村は区域再編により、計画的避難区域から帰還困難区域、居住制限区域、避難解除準備区域の3区域に見直される。

- 9 第13回救急シンポジウムを南相馬市で開催する。

11日に福島県警と合同捜索を実施する。（相馬、南相馬警察署管内）

12, 13日警戒区域等における大規模林野火災を想定した訓練を実施する。

- 平成25. 2 消防庁国民保護・防災部防災課消防団専門官 青木浩氏を招いて、**2013**
消防職団員を対象とした平成24年度消防関係者防災研修会をさくらホールで開催する。
第36回福島県消防職員意見発表会で、新地分署寺島政和消防士長が最優秀賞となる。
- 3 相馬地方地震対策計画に基づく地震対策訓練を実施する。
鹿島駅構内でJR、警察、消防合同でJR列車事故対応訓練を実施する。
11、13日に福島県警と合同捜索を実施する。(南相馬警察署管内)
消防ポンプ自動車(CD-1)を1台購入し相馬消防署に配備(更新)する。
27日に消防救急デジタル無線開通式を消防本部会議室で開催する。
- 4 1日から消防救急デジタル無線が正式運用開始となる。
救急救命士に2人(伊藤友英、但野 充)が合格、更に専門学校で養成を受けた後消防職員を拝命した1人(遠藤好彦)が合格し、計31名となる。
消防救急デジタル無線立石山中継所への落雷により電源設備等が破損する。
- 5 南相馬市防災センター(消防本部・南相馬消防署併設)の建設工事が着工となる。
全国消防長会東北支部総会が岩手県盛岡市で開催され、席上第36回全国消防長会東北支部意見発表があり、福島県代表として新地分署 寺島政和 消防士長が出場する。
飯舘村で実施された多数傷病者対応訓練(DMAT訓練)に参加。
- 6 相馬地方広域消防職員研修会「公務員の倫理等に関する研修」を道の駅南相馬で開催する。
- 7 天皇皇后両陛下の飯舘村行幸啓に際し、有事に備えた救急隊増隊を実施する。
- 9 多数傷病者事故対応訓練を南相馬(ダイユーエイト駐車場)及び相馬(相馬消防署)で実施する。
第14回救急シンポジウムを相馬市はまなす館で開催する。
- 11 東京ドームで開催された消防団120年・自治体消防65周年記念大会に出席する。

- 平成26. 2 豪雪により、国道115号線や県道原町・川俣線が通行止めとなり**2014**
相馬地方が孤立。勤務交代できず飯舘分署内で待機する職員あり。
消防職団員を対象とした平成25年度消防関係者防災研修会を「さくらホール」で開催予定であったが、中通りが豪雪の為東北新幹線が運休。東京から来福予定の講師が到着できず中止となる。
- 3 相馬地方地震対策計画の基づく地震対策訓練を実施する。
鹿島駅構内でJR、警察、消防合同でJR列車事故対応訓練を実施する。
11日に福島県警と合同捜索を実施する。(南相馬警察署管内)
- 4 第17代消防長に草刈 薫が就任する。
職員定数条例を一部改正し、消防職員定数148名とする。
救急救命士に2人(佐藤 学、林 貴之)が合格し、計33名となる。
福島県消防学校へ教官として庄司栄伸消防司令補を派遣する。(平成28年3月31日まで)
- 6 第37回福島県消防救助技術大会において、草野隆洸副士長(ロープブリッジ渡過)、佐藤弘隆副士長、佐藤貴洋副士長(ロープ応用登はん)が第1位となり第43回全国救助技術大会に出場を決める。(8月20日広島県に発生した土砂災害対応のため、8

月 27 日の全国大会は中止となった。)

地方公務員災害補償基金による職員のためのメンタルヘルスセミナーを 2 日間にわたり道の駅南相馬で開催する。

- 7 飯館村草野小学校グラウンドにおいて、第 39 回相馬地方消防操法大会を開催する。
- 8 東日本大震災以後、被災者に対し免除してきた消防手数料徴収を開始する。
- 9 第 15 回救急シンポジウムを南相馬市さくらホールで開催する。
震災後、許可車両以外通行止めとなっていた国道 6 号線は、一般車（自動車のみ）の通行が可能となる。
- 10 指揮兼広報車（トヨタラッシュ）を 3 台購入し、相馬消防署、南相馬消防署、飯館分署に配備（更新）する。
- 11 飯館村須萱地内において、避難区域内における大規模火災対応訓練を開催する。
双葉地方広域市町村圏組合消防本部との合同で常磐道現地調査を実施する。
亘理地区行政事務組合消防本部との合同で常磐道事故対応訓練を宮城・福島県境で実施する。
新地町農村環境改善センターにおいて、第 38 回相馬地方広域消防職員意見発表会を開催する。
- 12 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 高久警防課長を講師に迎え、高速道事故対応研修会を開催する。
常磐自動車道浪江 IC 以北が開通する。
消防ポンプ自動車（CD-1 CAFS 付）を 1 台購入し新地分署に配備（更新）する。

平成 27. 1 高機能消防指令施設仮運用、南相馬市消防・防災センターにおいて
業務を開始する。

2015

- 2 防災システム研究所山村武彦氏を招き、消防職団員を対象とした平成 26 年度消防関係者防災研修会を南相馬市さくらホールで開催する。
常磐自動車道南相馬鹿島スマート IC が開通となる。
- 3 常磐自動車道浪江 IC と常磐富岡 IC 間が開通し全線開通となる。
24 日に南相馬市消防・防災センター落成式と高機能消防指令施設開通式を、南相馬市と相馬地方広域市町村圏組合の合同で挙げる。
- 4 救急救命士に 2 人（中里岳文、但野賢哉）が合格し、計 35 名となる。
福島県消防防災航空隊に消防士長 佐藤彰洋を派遣する。（平成 30 年 3 月 31 日まで）
- 5 全国消防長会技術委員会が熊本市で開催される。
避難区域大規模火災対応訓練が檜葉町で開催される。
福島県防災通信連絡訓練が実施される。
全国消防長会が浜松市で開催される。
- 6 相馬地方防火安全協会設立総会が消防本部会議室において開催される。
福島県消防協会浜通り 3 支部連絡協議会が相馬市「かんのや」で開催され、併せて南相馬市消防防災センター視察を実施される。
- 8 指揮兼広報車プリウス α（ハイブリットカー）3 台を購入し、それぞれ本部、相馬消防署、南相馬消防署へ配備する。
福島県総合防災訓練が雲雀ヶ原祭場地をメイン会場として開催される。

- 9 標準報酬制度が導入される。
台風17号、18号襲来により当地方に甚大な被害をもたすおそれが発生したことから消防長特命大雨特別警戒が発令される。
救急シンポジウムが相馬市「はまなす館」にて開催される。
- 1 1 元総務大臣 増田寛也氏 公開講座が相馬市民会館で開催される。
福島県消防学校創立60周年記念式典、記念講演会、記念祝賀会が福島市で開催され消防長が出席する。

2016

- 平成28.
- 1 小型水槽付消防ポンプ自動車2台（CD-1 CAFS付）と災害救援車を購入し、ポンプ車は小高・飯館両分署に配備、災害救援車を本部に配備する。
南相馬市制10周年記念式典が「ゆめはっと」で開催される。
 - 3 当消防本部編集の「東日本震災記録～あの日を忘れない～」が完成し各関係機関へ配布する。
 - 4 南相馬市原町区大谷地内で建物火災から周辺の山林へ延焼し、翌日32ヘクタールを焼き鎮火した。この火災には全職員を招集し対応に当たった。
人事評価制度が始まり、第1回説明会を1日目消防本部で、2日目を看護学校で開催した。
 - 5 熊本地震に際し職員から募った義援金を送る。
 - 6 深夜勤務従事者の第1回健康診断を実施する。
平成28年度相馬地方広域消防本部検閲式を消防本部で開催する。職員109名、参観者108名が参加する。
 - 7 ドローン導入に向けテスト飛行研修会を小高区菊地製作所で開催される。
飯館分署新庁舎落成式が举行される。
 - 8 南相馬市原町区の北泉で18歳男性が沖に流される水難事故が発生する。この事故の救助にあたった海上保安部の小型艇が転覆し5名が海に投げ出され、うち1名が死亡する二次災害が発生した。当消防本部からは12隊33名が捜索・救助にあたった。
 - 9 新地分署新庁舎落成式が举行される。
 - 1 0 消防表彰式を举行する。人命救助2件、寄贈1件、救助東北大会出場者2件
女性消防職員採用広報活動「ワンデーインターンシップ」が仙台市で開催され、太田主幹が説明者として参加する。
 - 1 1 福島県沖地震発生 マグニチュード7.4 震度5弱 津波警報が発令された。非常配備体制が発令されたが、被害は無かった。
 - 1 2 常磐線新地～浜吉田間が開通する。
鹿島分署配備 小型水槽付消防ポンプ自動車の交付・配車式を举行する。

2017

- 平成29.
- 1 南相馬市立総合病院脳卒中センターの落成式が開催され、後日病院、消防、ドクターヘリによる訓練が開催された。
 - 2 相双水害災害対策評議員会が相双建設事務所で開催され、警防課長が出席する。
 - 3 化学車Ⅲ型1台・ブーム付多目的消防ポンプ車2台の交付・配車式が举行され、化学車Ⅲ型は南相馬消防署に、ブーム付多目的消防ポンプ自動車は南相馬消防署、相馬消防署にそれぞれ配備された。

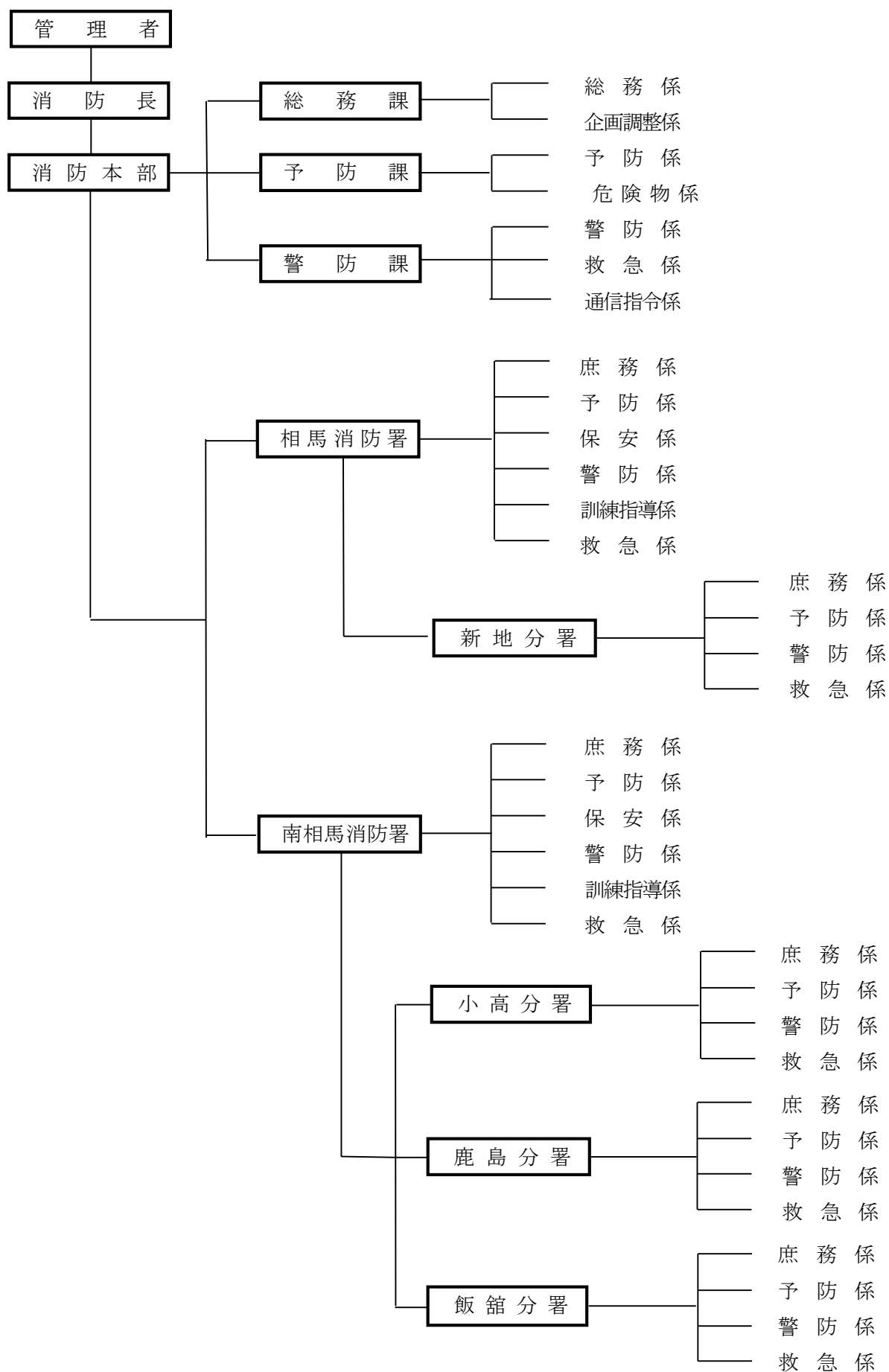
相馬地方広域消防歴代管理者・消防長等一覧表

(平成29年4月 1 日現在)

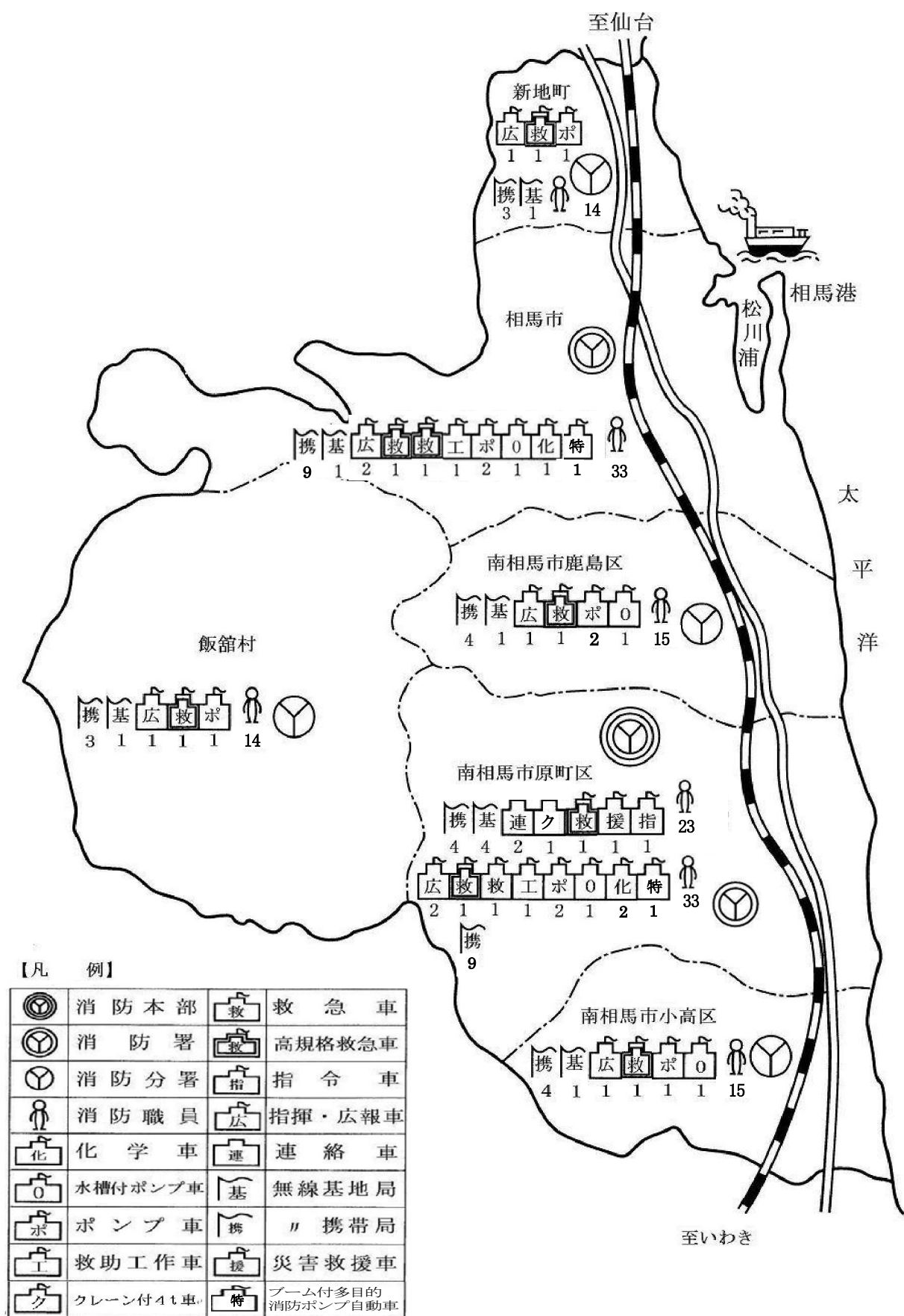
	管 理 者	防 本 部				相馬消防署 署 長	原町消防署 署 長			
		消 防 長	次 長	総 務 課 長	消 防 課 長					
昭 和 47 年 度	山 田 貢 (原町市長)	渡邊 清憲	岸 近			泉 茂	打田 勝喜			
昭 和 48 年 度		岸 近	打田 勝喜							
昭 和 49 年 度	鈴木重郎治 (小高町長)		飯塚 盛男				阿部 定雄			
昭 和 50 年 度				飯塚 盛男	吉田 信雄					
昭 和 51 年 度		吉田 嘉基								
昭 和 52 年 度	今野 繁 (相馬市長)		泉 茂	飯塚 盛男	吉田 信雄	橋 稔	鈴木 一男			
昭 和 53 年 度				泉 茂						
昭 和 54 年 度		泉 茂	吉田 信雄	吉田 信雄	佐藤 芳夫			只野 清治	佐藤 芳夫	
昭 和 55 年 度										
昭 和 56 年 度										
昭 和 57 年 度		吉田 信雄	橋 稔	只野 清治	鈴木 一男	荒 健二郎	鈴木 孝雄			
昭 和 58 年 度			鈴木 一男	荒 健二郎						
昭 和 59 年 度				只野 清治						
昭 和 60 年 度		鈴木 一男	佐藤 芳夫		佐藤 芳夫					
昭 和 61 年 度										
昭 和 62 年 度										
昭 和 63 年 度										
平成元年度										
平成2年度	門馬 直孝 (原町市長)	佐藤 芳夫	荒 健二郎	林 登喜夫	只野 清治		松田 武久			
平成3年度			只野 清治		本間 健一					
平成4年度			只野 清治		志賀 勝		吉田 博			
平成5年度		只野 清治		佐藤 正三	佐藤 正三					
平成6年度				吉田 博	吉田 博					
平成7年度				本間 健一	吉田 博		佐藤 正三			
平成8年度		新谷 榮正		吉田 博	予 防 課 長	警 防 課 長		本間 健一		
平成9年度	荒 和英 (新地町長)				高野 政利	佐藤 正三				
平成10年度	荒 和英 (新地町長)	萩原 勝	佐藤 正三	萩原 勝	吉田 博	木村健次郎	木村健次郎	仲野内 正		
平成11年度			鈴木 寛林 (原町市長)		米山 光喜	渡部 喜一			新妻 智	西内 正雄
平成12年度										
平成13年度										
平成14年度	中野 一徳 (鹿島町長)	木村健次郎	木村健次郎	渡部 和俊	森 茂雄	井上 秀雄	西内 正雄			
平成15年度			新妻 智	荒 重徳						
平成16年度			渡部 和俊	荒 重徳	菅野 幸一					

	管 理 者	消 防 本 部					相馬消防署 署 長	原町消防署 署 長	
		消 防 長	次 長	総 務 課 長	予 防 課 長	警 防 課 長			
平成17年度	中野 一徳 (鹿島町長)	渡部 和俊	井上 秀雄	西内 正雄	菅野 幸一	福島 昭	森 茂雄	小椋 一男	
平成18年度	渡辺 一成 (原町市長)							南相馬消防署署長 (以降南相馬消防署になる)	
	※平成18年1月1日 から南相馬市長							小椋 一男	
平成19年度									
平成20年度								井上 秀雄	西内 正雄
平成21年度		森 茂雄	小椋 一男	山田 敏	若林 安夫	内田 直人		渡部 純市	
平成22年度	桜井 勝延 (南相馬市長)	山田 敏	高野 孝一	高野 孝一	只野 正夫	加藤 正人	齋藤 岩雄	佐藤 信義	
平成23年度				草刈 薫		菅野 富茂	木村 一正	佐藤 久	草刈 薫
平成24年度					草刈 薫		菅野 富茂		遠藤 光美
平成25年度				草刈 薫	菅野 富茂	遠藤 光美	佐々木久人	佐々木久人	遠藤 吉行
平成26年度				草刈 薫	佐藤 久	佐藤 久	高倉 健一		小谷津芳秀
平成27年度		遠藤 吉行	菅野忠孝				高倉 健一		
平成28年度			小谷津芳秀	小谷津芳秀	菅原照見	須田幸正	菅原照見		
平成29年度			小谷津芳秀	菅野忠孝	菅野忠孝	遠藤吉行	須田幸正	菅原照見	

相馬地方広域消防組織図



相馬地方広域消防現勢分布図



相馬地方広域市町村圏勢の推移

区 分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
面 積 (km ²)	872. ⁶⁵	872. ⁶⁵	872. ⁶⁵	872. ⁶⁵	872. ⁶⁵
人 口	115,817	114,802	114,221	113,494	111,964
世 帯 数	41,077	41,300	41,957	42,153	42,752

(注)人口、世帯数は、4月1日現在の数値

消 防 予 算 の 推 移

区分 年度別	組合総予算額 (当 初) 千円	消防費予算額 (当 初) 千円	構 成 比 %	消 防 費	
				1 世帯当り 円	人口 1 人当り 円
25	1,636,669	1,493,285	91.23	36,353	12,893
26	1,522,716	1,370,149	89.98	33,176	11,935
27	1,603,798	1,428,423	89.07	34,045	12,506
28	1,850,236	1,654,134	89.40	39,241	14,575
29	1,586,881	1,411,711	88.96	33,020	12,608

消 防 施 設 等 整 備 状 況

※ 1 件百万円以上のもの

(平成 28 年度)

区 分	数量	事業費(千円)	該 当 所 属
ブーム付多目的消防ポンプ自動車	2	179,280	相馬消防署、南相馬消防署
化 学 消 防 自 動 車 III 型	1	106,920	南相馬消防署
消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	55,792	鹿島分署
ビ デ オ 喉 頭 鏡 ほ か	4 件	1,220	相馬消防署、南相馬消防署
パ ソ コ ン	20	2,324	各所属

消 防 庁 舎

区 分		所 在 地	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	構 造
消 防 本 部		南相馬市原町区高見町一丁目 272	7,561.16	2,792.15	鉄骨造・制震造 3 階建 (平成 27 年建築)
		Tel 0244-22-4164 4165 Fax 0244-22-5790			
相馬 消 防 署	本 署	相馬市中野字堂ノ前 371-1	3,292.00	1,336.45	鉄筋コンクリート造 2 階建 (平成 22 年建築)
		Tel 0244-36-2181 2182 Fax 0244-35-6474			
	新地分署	相馬郡新地町谷地小屋字中田 55	5,889.6	1,200.63	鉄骨造 2 階建 (新地町防災センター内) (平成 28 年建築)
		Tel 0244-62-2117 2118 Fax 0244-62-5060			
南 相 馬 消 防 署	本 署	消 防 本 部 に 同 じ (南 相 馬 市 消 防 ・ 防 災 セ ン タ ー 内)			鉄骨造・制震造 3 階建 (平成 27 年建築)
		Tel 0244-22-2186 2187 Fax 0244-26-0023			
	小高分署	南相馬市小高区本町二丁目 78	1,139.92	564.20	鉄筋コンクリート造平屋建 (平成 22 年建築)
		Tel 0244-44-2212 Fax 0244-44-2080			
	鹿島分署	南相馬市鹿島区西町一丁目 2	345.00	424.63	鉄筋コンクリート造 2 階建 (昭和 43 年建築)
		Tel 0244-46-5118 5119 Fax 0244-46-1500			
	飯館分署	相馬郡飯館村草野字大師堂 14	1,579.39	430.19	鉄骨モルタル造一部 2 階建 (平成 28 年建築)
		Tel 0244-42-0119 0319 Fax 0244-42-1115			

職 員 配 置 状 況

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

階級別 区 分		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	総 務 課			2	1	1			4
	予 防 課		1	2					3
	警 防 課		1	3	6	3			13
相 馬 消 防 署	本 署		1	5	8	7	7	5	33
	新 地 分 署			4	5	3	2		14
南 相 馬 消 防 署	本 署		1	5	9	7	9	2	33
	小 高 分 署			4	5	3	2	1	15
	鹿 島 分 署			4	6	2	2	1	15
	飯 館 分 署			5	5	1	1	2	14
計		1	5	34	45	27	23	11	146

階 級 別 年 齢 状 況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

階級別 年齢別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
18才～20才							4	4
21～25						10	7	17
26～30					12	13		25
31～35				6	15			21
36～40				14				14
41～45			6	24				30
46～50			15	1				16
51～55		1	8					9
56才以上	1	4	5					10
計	1	5	34	45	27	23	11	146
平 均	57.0	56.2	49.9	40.2	30.7	25.6	20.9	37.6

職 員 市 町 村 別 居 住 状 況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

階級別 市町村別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
相 馬 市		2	11	16	11	12	2	54
南 相 馬 市	1	2	15	20	9	10	7	64
原 町 区	1	2	13	13	6	8	4	47
小 高 区								
鹿 島 区			2	7	3	2	3	17
新 地 町			5	3	3	1	2	14
飯 舘 村								
その他	県 内	1	2	3	1			7
	県 外		1	3	3			7
合 計	1	5	34	45	27	23	11	146

階級・勤続年数別職員構成

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

階級 勤続年数	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	総 数
	1	5	34	45	27	23	11	146
1 年未満							3	3
1 年							3	3
2 年						1	2	3
3 年					1	2	3	6
4 年					2	7		9
5 年					1	5		6
6 年					1	3		4
7 年					4	1		5
8 年					4	4		8
9 年				1	7			8
10 年					4			4
11 年				1				1
12 年				2	2			4
13 年				3	1			4
14 年				1				1
15 年				3				3
16 年				1				1
17 年				2				2
18 年				3				3
19 年				4				4
20 年				4				4
21 年				2				2
22 年				1				1
23 年			2	5				7
24 年			6	7				13
25 年			2	5				7
26 年			2					2
27 年			5					5
28 年			4					4
29 年								
30 年			1					1
31 年			3					3
32 年			2					2
33 年		1	1					2
34 年	1		2					3
35 年		2	1					3
36 年								
37 年			1					1
38 年		2	2					4
39 年								
40 年								
41 年								

年 度 別 職 員 研 修 状 況

区 分		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
消 防 大 学 校 等	幹 部 研 修 科		1								
	幹 部 科	2		2			1		1		1
	予 防 科		1		1						
	警 防 科							1			
	救 急 科									1	
	危 機 管 理 講 習	1		1							
	救急救命士東京研修所	2	2	2	2		2	2	2	2	
	国 民 保 護 コ ー ス				1						
福 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育	4	8	9	7	6	8	9	6	3	3
	初 級 幹 部 科	3	3	2	2				1		1
	中 級 幹 部 科	3	3	2				1		1	
	救急科（救急標準課程）	6	4	5	6	6	6	6	6	6	6
	救命士養成補助教育							2	2	2	2
	救急救命士処置拡大講習（静脈路確保）										4
	救急救命士処置拡大講習（ビデオ/傾頭鏡）										4
	火 災 調 査 科				2		1		2		2
	救 助 科				2		2		2		2
	警 防 科									2	2
	予 防 査 察 科										2
	指 揮 隊 長 科							2	2	2	2
	放 射 線 基 礎 研 修										6
	そ の 他	14	10	5	3		8		1	12	
病 院 研 修 等	気管挿管病院実習（30 症例）										1
	救急救命士就業前研修										2
	指 導 者 生 涯 研 修										1
	救急隊員病院研修										3
	救急救命士生涯研修										5
	ビデオ硬性気管挿管実習（5 症例）										2
自 治 研 修 セ ン タ ー 等	消防・救急緊急自動車運転技能者課程									1	1
	管理者研修（危機管理コース）									1	1
	法 制 執 務 講 座	3	1		1						
	メディアトレーニング講座										1
	人 事 評 価 制 度 講 座									3	6
	メンタルトレーニング実践講座	2	1	1	1					2	
	リーダーシップ養成講座	2	2	1							
	住民サービス向上のための接遇実践講座										2
	メンタルヘルス講座（予防編）				1						2
	ク レ ー ム 対 応 講 座										1
	有事の危機管理講座										1
	地 方 自 治 法 講 座	3		1							
	情報セキュリティ対策基礎						4	2	2		
	給 与 制 度 講 座						4				
	エ ク セ ル 講 座						4	2	2		
計		55	47	32	33	12	40	27	29	38	66

職員特殊技能その他の資格取得状況

(平成29年4月1日現在)

区 分		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
大型自動車	2種			1	1				
	1種	1	5	33	44	27	21	1	132
中型自動車	限定なし								
	8t限定					1			1
普通自動車		1	5	34	45	28	22	11	146
自動2輪車		1		15	21	9	8		54
大型特殊自動車			1	6	7	1	1		16
けん引自動車				4	3				7
危険物取扱者	甲種		1					3	
	乙種	1	21	32	18	8	4	86	
	丙種		4	1		1		6	
消防設備士	甲種		1	2				3	
	乙種		9	4	1			15	
予防技術 資格者	防火査察		5	9	8	3		26	
	消防用設備		4	4	1			10	
	危険物		3	5	3	2		13	
救急救命士		1	2	13	17	3		1	37
救急Ⅱ課程・標準課程			2	20	26	24	10		82
救急Ⅰ課程			1	3	1				5
特殊無線技士			1	15	28	14	18	4	80
アマチュア無線技士				4	1		1		6
電気工事士			1	1	1	2	3	1	9
ガス溶接			2	10	12	2	4	2	32
ボイラー技士			1	3	3	2	2	2	13
小型船舶操縦士			3	11	14	3	1		32
小型移動式クレーン特別教育		1	5	32	37	28	20	2	125
玉掛技能		1	5	26	38	27	20	3	120
クレーン運転士					2		1		3
潜水士			1	3		1			5
高所作業車技能講習				3	8	11	8	2	32
毒・劇物取扱者				1					1

消 防 相 互 応 援 協 定 状 況

協 定 機 関	協 定 内 容	協 定 年 月 日
双葉地方広域市町村圏組合	火災救急相互応援	昭和 48 年 4 月 1 日
伊達地方消防組合	火災救急相互応援	昭和 48 年 9 月 1 日
亘理地区行政事務組合	火災救急相互応援	昭和 49 年 1 月 1 日
仙南地域広域行政事務組合	火災救急相互応援	昭和 49 年 6 月 1 日
福島・宮城広域災害時相互応援協定	物資等相互応援	平成 8 年 8 月 28 日
福島地方広域行政圏（17 市町村）		
仙南地域広域行政圏（9 市町村）		
亘理名取広域行政圏（2 市 2 町）		
相馬地方広域市町村圏組合（6 市町村）		
福島・宮城・山形 5 広域圏災害時相互応援協定	物資等相互応援	平成 9 年 1 月 16 日
福島地方広域行政圏（17 市町村）		
仙南地域広域行政圏（9 市町村）		
亘理名取広域行政圏（2 市 2 町）		
相馬地方広域市町村圏組合（6 市町村）		
置賜広域行政圏（8 市町村）		
福島県広域消防相互応援	大規模・特殊災害 相互応援	平成 10 年 1 月 1 日
県内 12 市町村圏組合協定		
火災原因調査に係る相互応援協定	火 災 調 査	平成 12 年 4 月 1 日
県内 12 市町村圏組合		
亘理地区行政事務組合	常磐自動車道消防相互応援	平成 26 年 6 月 2 日
双葉地方広域市町村圏組合	常磐自動車道消防相互応援	平成 26 年 8 月 8 日



予 防 統 計



防 火 対 象 物 の 現 況

(平成29年3月31日現在)

項 別 種 別				防 火 対 象 物 数			防火管理者を必要とする対象物	
				特定防火対象物	非特定防火対象物	計	甲 種	乙 種
1	イ	劇 場 等		5		5	5	
	ロ	公 会 堂 等		60		60	43	10
2	イ	キ ャ バ レ ー 等						
	ロ	遊 技 場 等		14		14	13	1
	ハ	性風俗関連特殊営業営 む 店 舗 等						
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等		3		3	3	
3	イ	料 理 店 等		9		9	7	1
	ロ	飲 食 等		46		46	22	22
4		店 舗 等		141		141	104	19
5	イ	旅 館 等		141		141	105	10
	ロ	共 同 住 宅 等			711	711	340	4
6	イ	病 院 等	(1)	16		16	7	
			(2)	1		1	1	
			(3)	9		9	8	
			(4)	42		42	18	
	ロ	重度老人福祉施設等	(1)	30		30	25	1
			(2)					
			(3)					
			(4)	1		1	1	
			(5)	1		1	1	
	ハ	軽度老人福祉施設等	(1)	28		28	13	3
			(2)					
			(3)	25		25	19	1
			(4)	9		9	1	
			(5)	16		16	5	2
	ニ	幼 稚 園 等		33		33	25	1
7		学 校			178	178	59	
8		図 書 館 等			8	8	5	
9	イ	特 殊 浴 場						
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			1	1	1	
10		停 車 場 等			2	2		
11		神 社 等		10	37	47	13	5
12	イ	工 場 等			653	653	66	
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等						
13	イ	車 庫 等			18	18	1	
	ロ	飛 行 機 格 納 庫						
14		倉 庫			279	279	11	
15		事 業 所			568	568	161	19
16	イ	一 部 特 防 (含)		119		119	76	11
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途			58	58	6	1
17		文 化 財			3	3		
合 計				759	2,516	3,275	1,165	111

防火対象物立入検査状況

(平成28年度)

種 別 項 別			対象物件数		実施件数		警告書 件 数	結 果 通知書 件 数	改 善 件 数
			I 種	Ⅲ種	I 種	Ⅲ種			
1	イ	劇 場 等	5		3				
	ロ	公 会 堂 等	52	8	34	4		10	
2	イ	キ ャ バ レ ー 等							
	ロ	遊 技 場 等	14		7			4	
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 営 営 営 店 舗 等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3		2			2	
3	イ	料 理 店 等	8	1	2			2	
	ロ	飲 食 等	43	3	19			9	
4		店 舗 等	130	11	68	1		39	
5	イ	旅 館 等	137	3	66	2		14	
	ロ	共 同 住 宅 等	505	206	124	15		2	
6	イ	病 院 等	(1)	16		9			
			(2)	1					
			(3)	9		4		1	
			(4)	28	14	11	1	3	
	ロ	重度老人福祉施設等	(1)	30		15		2	
			(2)						
			(3)						
			(4)	1		1		1	
			(5)	1					
	ハ	軽度老人福祉施設等	(1)	23	5	12	4	10	
			(2)						
			(3)	25		11		4	
			(4)	8	3	1			
			(5)	11	5	6	4		
	ニ	幼 稚 園 等	29	6	18	3		3	
7		学 校	164	2	94			8	
8		図 書 館 等	6	14	2				
9	イ	特 殊 浴 場							
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	1						
10		停 車 場 等		2					
11		神 社 等	27	20	10	5			
12	イ	工 場 等	381	210	150	58		53	
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等	1						
13	イ	車 庫 等	8	9	6	4		4	
	ロ	飛 行 機 格 納 庫	34						
14		倉 庫	229	121	39	16		3	
15		事 業 所	314	174	115	21		12	
16	イ	一 部 特 防 (含)	86	25	22	12		15	
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途	26	20	4	3		2	
17		文 化 財		3		1			
合 計			2,356	865	855	154		203	
一 般 家 庭			世帯数		立入検査実施件数				

※実施規定 I 種査察は年1回以上、Ⅲ種査察は3年に1回以上の実施。

※一般家庭の世帯数は、市区町村内全部の世帯数を記入のこと。

甲種防火管理者新規（再）講習実施状況

実 施 年 月 日	修了証交付者数	実 施 年 月 日	修了証交付者数
昭和 49 年～昭和 55 年	828	平成 16 年 10 月 17 日	40
昭和 56 年 9 月 19 日	101	平成 17 年 7 月 10 日	62
昭和 57 年 10 月 20 日	96	平成 17 年 12 月 7 日	44
昭和 58 年 10 月 6 日	129	平成 18 年 7 月 12 日	83
昭和 59 年 10 月 5 日	110	平成 18 年 12 月 6 日 (再 講 習)	48
昭和 60 年 10 月 9 日	106	平成 19 年 7 月 11 日	87
昭和 61 年 10 月 8 日	133	平成 19 年 12 月 5 日 (再 講 習)	9
昭和 62 年 10 月 8 日	112	平成 20 年 7 月 10 日	85
昭和 63 年 10 月 5 日	102	平成 20 年 12 月 4 日 (再 講 習)	8
平成 元 年 10 月 5 日	107	平成 21 年 7 月 9 日	82
平成 2 年 10 月 2 日	134	平成 21 年 12 月 3 日 (再 講 習)	4
平成 3 年 10 月 8 日	117	平成 22 年 12 月 2 日 (再 講 習)	14
平成 4 年 10 月 7 日	110	平成 22 年 7 月 9 日	86
平成 5 年 10 月 7 日	90	平成 23 年 10 月 6 日	55
平成 6 年 10 月 7 日	94	平成 23 年 12 月 2 日 (再 講 習)	21
平成 7 年 10 月 5 日	127	平成 24 年 7 月 12 日	69
平成 8 年 10 月 17 日	94	平成 24 年 12 月 5 日 (再 講 習)	19
平成 9 年 10 月 16 日	110	平成 25 年 7 月 5 日	75
平成 10 年 10 月 8 日	107	平成 25 年 12 月 5 日 (再 講 習)	12
平成 11 年 10 月 7 日	93	平成 26 年 7 月 3 日	88
平成 12 年 10 月 12 日	86	平成 26 年 12 月 4 日 (再 講 習)	11
平成 13 年 7 月 8 日	95	平成 27 年 7 月 10 日	86
平成 13 年 10 月 3 日	126	平成 27 年 12 月 3 日 (再 講 習)	28
平成 14 年 7 月 14 日	90	平成 28 年 7 月 7,8 日	79
平成 14 年 10 月 4 日	66	平成 28 年 12 月 2 日 (再 講 習)	11
平成 15 年 7 月 13 日	89		
平成 15 年 10 月 17 日	73		
平成 16 年 7 月 17 日	79	合 計	4,810

防火管理者の選任及び消防計画の届出状況

(平成29年3月31日現在)

選任・届出状況 項 別			防 火 管 理 者			消 防 計 画			
			選 要 対 象	任 を す る 物 数	選 任 対 象 物 数	選 任 の 合 割 （ ％ ）	届 出 を 必 要 と す る 対 象 物 数	届 出 対 象 物 数	届 出 の 合 割 （ ％ ）
1	イ	劇 場 等	5	5	100	5	5	100	
	ロ	公 会 堂 等	52	44	85	52	43	83	
2	イ	キ ャ バ レ ー 等							
	ロ	遊 技 場 等	14	13	93	14	13	93	
	ハ	性風俗関連特殊営業 営 営 店 舗 等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3	3	100	3	3	100	
3	イ	料 理 店 等	8	8	100	8	8	100	
	ロ	飲 食 等	44	34	77	44	34	77	
4		店 舗 等	123	111	90	123	106	86	
5	イ	旅 館 等	109	108	99	109	89	82	
	ロ	共 同 住 宅 等	343	298	87	343	243	71	
6	イ	病 院 等	(1)	7	7	100	7	7	100
			(2)	1	1	100	1	1	100
			(3)	8	8	100	8	8	100
			(4)	18	14	78	18	14	78
	ロ	重度老人福祉施設等	(1)	25	23	92	25	23	92
			(2)						
			(3)						
			(4)	1	1	100	1	1	100
			(5)	1	1	100	1	1	100
	ハ	軽度老人福祉施設等	(1)	16	16	100	16	16	100
			(2)						
			(3)	20	20	100	20	20	100
			(4)	1	1	100	1	1	100
			(5)	7	7	100	7	7	100
	ニ	幼 稚 園 等	27	25	93	27	25	93	
7		学 校 等	59	59	100	59	58	98	
8		図 書 館 等	9	6	67	9	6	67	
9	イ	特 殊 浴 場							
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	1	1	100	1	1	100	
10		停 車 場 等							
11		神 社 等	14	12	86	14	12	86	
12	イ	工 場 等	46	46	100	46	46	100	
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等	19	17	89	19	17	89	
13	イ	車 庫 等	1	1	100	1	1	100	
	ロ	飛 行 機 格 納 庫							
14		倉 庫	11	10	91	11	10	91	
15		事 業 所	181	160	88	181	158	87	
16	イ	一 部 特 防 （ 含 ）	89	84	94	89	83	93	
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途	7	7	100	7	7	100	
17		文 化 財							
合 計			1,270	1,151	91	1,270	1,067	84	

防火対象物定期点検報告制度実務状況

(平成28年3月31日現在)

項 別			点検を要する 防火対象物数		点検報告件数		認定件数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇 場 等	5		1		2	
	ロ	公 会 堂 等	31		14		3	
2	イ	キ ャ バ レ ー 等						
	ロ	遊 技 場 等	7		3		1	
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 等 営 む 店 舗 等						
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等						
3	イ	料 理 店 等						
	ロ	飲 食 等						
4		店 舗 等	27		16		7	
5	イ	旅 館 等	2	7		1		4
	ロ	共 同 住 宅 等						
6	イ	病 院 等	(1) 8		4		1	
			(2)	1		1		
			(3) 1	1				
			(4) 1					
	ロ	重度老人福祉施設等	(1)					
			(2)					
			(3)					
			(4)					
			(5)					
	ハ	軽度老人福祉施設等	(1) 1		1			
			(2)					
			(3)					
			(4)					
			(5)					
	ニ	幼 稚 園 等	1				1	
7		学 校						
8		図 書 館 等						
9	イ	特 殊 浴 場						
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場						
10		停 車 場 等						
11		神 社 等						
12	イ	工 場 等						
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等						
13	イ	車 庫 等						
	ロ	飛 行 機 格 納 庫						
14		倉 庫						
15		事 業 所						
16	イ	一 部 特 防 (含)	6	2	2	1	1	1
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途						
17		文 化 財						
合 計			90	11	41	3	16	5

防火対象物階層別調

(平成28年3月31日現在)

種 別			1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階 以上	計
1	イ	劇 場 等	2	2		1								5
	ロ	公 会 堂 等	38	19	2	1								60
2	イ	キ ャ バ レ ー 等												
	ロ	遊 技 場 等	9	5										14
	ハ	性風俗関連特殊営業 営 む 店 舗 等												
	ニ	カラオケボックス等	1	2										3
3	イ	料 理 店 等	1	6	2									9
	ロ	飲 食 等	19	26	1									46
4		店 舗 等	105	34	1	1								141
5	イ	旅 館 等	37	76	6	8	6	4	1	1		1		140
	ロ	共 同 住 宅 等	106	412	127	35	30	1						711
6	イ	病 院 等	(1)	1	4	2	5	1	2	1				16
			(2)			1								1
			(3)	1	4	1	2	1						9
			(4)	10	28	4		1						43
	ロ	重度老人福祉施 設	(1)	20	3	5	1	1						30
			(2)											
			(3)											
			(4)		1									1
			(5)		1									1
	ハ	軽度老人福祉施 設	(1)	20	7									27
			(2)		1									1
			(3)	15	10									25
			(4)	3	6									9
			(5)	10	6									16
	ニ	幼 稚 園 等	42	16	6									64
7		学 校	53	55	32	4								144
8		図 書 館 等	3	3	1	1								8
9	イ	特 殊 浴 場												
	ロ	イ以外の公衆浴場	1											1
10		停 車 場 等	2											2
11		神 社 等	30	17										47
12	イ	工 場 等	415	208	21	9	1							654
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等												
13	イ	車 庫 等	17	1										18
	ロ	飛 行 機 格 納 庫												
14		倉 庫	199	75	4	1								279
15		事 業 所	245	251	47	15	5	3	2		1			569
16	イ	一 部 特 防 (含)	13	65	34	4	2	1	1	1				121
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途	11	35	7	2			1		1			57
17		文 化 財	3											3
合 計			1,432	1,379	304	90	47	12	6	2	2	1		3,275

市町村別建築同意処理状況

(平成28年度)

工事種別 市区町村別		新 築	増 築	改 築	その他	移 転	用途変更	計
南 相 馬 市	原 町 区	342	31	0	0	1	2	376
	小 高 区	49	44	0	0	0	0	93
	鹿 島 区	110	19	0	0	0	0	129
	計	501	94	0	0	1	2	598
相 馬 市		146	50	2	1	0	8	207
新 地 町		50	15	0	2	0	0	67
飯 舘 村		9	1	0	0	0	1	11
合 計		706	160	2	3	1	11	883

年度別建築同意処理状況

種 別 年度別	専用住宅	併用住宅	特殊建築物	そ の 他	計
平成24年度	103	4	282	197	586
平成25年度	142	22	254	150	568
平成26年度	190	5	219	100	514
平成27年度	147	3	368	434	952
平成28年度	152	4	367	456	979

用 途 別 建 築 同 意 処 理 状 況

(平成28年度)

工事種別 項 別			新 築	増 築	改 築	その他	移 転	用途変更	計
1	イ	劇 場 等							
	ロ	公 会 堂 等	4	1				2	7
2	イ	キ ャ バ レ ー 等							
	ロ	遊 技 場 等							
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 営 む 店 舗 等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等							
3	イ	料 理 店 等		1					1
	ロ	飲 食 等	5	1					6
4		店 舗 等	21	2					23
5	イ	旅 館 等	20	17				4	41
	ロ	共 同 住 宅 等	103	1					104
6	イ	病 院 等	(1)	4					4
			(2)						
			(3)						
			(4)	4					4
	ロ	重 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)	1					1
			(2)						
			(3)						
			(4)		2				2
			(5)						
	ハ	軽 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)						
			(2)						
			(3)	1				1	2
			(4)		1				1
			(5)	2					2
	ニ	幼 稚 園 等							
7		学 校	3	3		1			7
8		図 書 館 等			1				1
9	イ	特 殊 浴 場							
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場							
10		停 車 場 等	2						2
11		神 社 等	3	1					4
12	イ	工 場 等	19	6					25
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等							
13	イ	車 庫 等	5	2					7
	ロ	飛 行 機 格 納 庫							
14		倉 庫	22	18					40
15		事 業 所	55	10	1				66
16	イ	一 部 特 防 (含)	6						6
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途	3						3
17		文 化 財							
合 計			283	66	2	1		7	359

消 防 用 設 備 等 の 着 工 ・ 設 置 届 出 件 数

(平成28年度)

種 別 項 別			相 馬 消 防 署				南 相 馬 消 防 署							
			本 署		新地分署		本 署		小高分署		鹿島分署		飯館分署	
			着 工 届	設 置 届	着 工 届	設 置 届	着 工 届	設 置 届	着 工 届	設 置 届	着 工 届	設 置 届	着 工 届	設 置 届
1	イ	劇 場 等		4			1							
	ロ	公 会 堂 等	3	5				8		4		1		1
2	イ	キ ャ バ レ ー 等						1						
	ロ	遊 技 場 等												
	ハ	性風俗関連特殊営業 営 営 店 舗 等												
	ニ	カラオケボックス等	1	2				1						
3	イ	料 理 店 等					1							
	ロ	飲 食 等	1					4						
4		店 舗 等		3			6	14		7	4	10		
5	イ	旅 館 等	11	24			10	28			2	54		
	ロ	共 同 住 宅 等	7	32	2	13	32	117		2	8	1		
6	イ	病 院 等	(1)	1	1		4	5						
			(2)											
			(3)				5	10						
			(4)	2	4		2	5			2			
	ロ	重度老人福祉施設等	(1)	3	7									1
			(2)											
			(3)											
			(4)	1										
			(5)											
	ハ	軽度老人福祉施設等	(1)		1			3						
			(2)											
			(3)	1	2		1							
			(4)				1	2						
			(5)		1									
	ニ	幼 稚 園 等												
7		学 校 等	4	5			5	7	5	30				
8		図 書 館 等												
9	イ	特 殊 浴 場												
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場												
10		停 車 場 等												
11		神 社 等								2				
12	イ	工 場 等	4	17	1	6	2	10	2	13	1	2	1	10
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等												
13	イ	車 庫 等												
	ロ	飛 行 機 格 納 庫												
14		倉 庫	2	13	2	3	1	3		17		1		
15		事 業 所	8	34	1	16	18	30	2	17		12	2	14
16	イ	一 部 特 防 (含)	1	3		2	1	7			1	2	1	5
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途								3				
17		文 化 財		1										
合 計			50	159	6	40	90	255	9	95	16	85	4	31

火災予防条例に基づく届出件数

(平成28年度)

署 別 届 出 別		相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署				計
		本署	新地分署	本署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
圧縮アセチレンガス				1				1
液化石油ガス		31	6	56	1	10		104
防火管理	防火対象物使用開始届	64	11	93	36	20	12	236
	消 防 計 画 書	65	19	168	17	48	1	318
電気・火気使用等	熱風炉・かまど・ボイラー	7	4	7	2		1	21
	乾燥設備・火花を生じる機械設備	1		1		1		3
	変電・発電・蓄電池設備	25	10	18	21	7	5	86
	ネオン管灯設備							
	水素ガスを充填する気球							
各種届出等	火災とまぎらわしい行為の届出	13	14	32	16	17		92
	煙 火 打 上	38	19	22	6	15		100
	催 物 開 催							
	水道断水・減水	6		1				7
	道 路 工 事	123	25	62	17	49	54	330
危険物等	少 量 危 険 物	33	8	14	20	2	5	82
	指 定 可 燃 物	9		1			2	12
	毒 物 ・ 劇 物							
合 計		415		476		169	80	1,392



危 險 物 統 計



市町村別危険物施設数

(平成29年3月31日現在)

市 区 町 村 別		施設 別	製 造 所	貯蔵所								取扱所					合 計
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	小計	
相馬市			4	27	65	2	40		55	12	201	25			58	83	288
南相馬市	原町区		8	33	41	2	46	1	37	6	166	37			42	79	253
	小高区			6	18		13		7		44	4			18	22	66
	鹿島区			7	3		9		19	1	39	15			10	25	64
	計		8	46	62	2	68	1	63	7	249	56			70	126	383
新地町				6	9		10		10		35	5			12	17	52
飯舘村					5		4		8	1	18	6			8	14	32
合　　計			12	79	141	4	122	1	136	20	503	92			152	240	755

※ 特定屋外タンク貯蔵所

- ① 相馬共同火力発電所
重油 20,003Kℓ 2基
- ② 東北電力原町火力発電所
軽油 2,980Kℓ 2基

数量別危険物施設数

(平成29年3月31日現在)

数量別 施設別	製造所	貯蔵所								取扱所					合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	小計	
5倍以下		46	17	1	72	1	115	2	254	4			57	61	315
5～10以下		12	19	2	24		4	4	65	1			27	28	93
10～50	1	15	55	1	22		4	8	105	29			42	71	177
50～100	7	3	9		3		12		27	12			7	19	53
100～150		1	5		1		1		8	12			3	15	23
150～200		2	2					6	10	16				16	26
200～1,000	1		12		1				13	17			1	18	32
1,000～5,000			15						15				6	6	21
5,000～10,000									0				6	6	6
10,000倍を超えるもの	3		8						8				1	1	12
合計	12	79	142	4	123	1	136	20	505	91	0	0	150	241	758

類別危険物施設数

(平成29年3月31日現在)

種類	施設別	製造所	貯蔵所								取扱所					合計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	小計	
単独	第一類		1							1					0	1
	第二類	1	3	1						4				1	1	6
	第三類	3		20						20				10	10	33
	第四類	3	64	118	4	123	1	136	20	466	91			126	217	686
	第五類		2	1						3				1	1	4
	第六類			2						2				4	4	6
混在		5	9							9				8	8	22
合計		12	79	142	4	123	1	136	20	505	91	0	0	150	241	758

施設別許可・完成検査・廃止届件数

(平成29年3月31日現在)

施設別 数量別		製造所	貯蔵所								取扱所					合計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	小計	
許可	設置	1	3	9		1		13	1	27				1	1	29
	変更	3		6		1		16		23	17			10	27	53
完成検査	設置		6	9		4		13	1	33				6	6	39
	変更	2		4		1		15		20	17			12	29	51
廃止届						2		5		7	1			2	3	10



火災統計

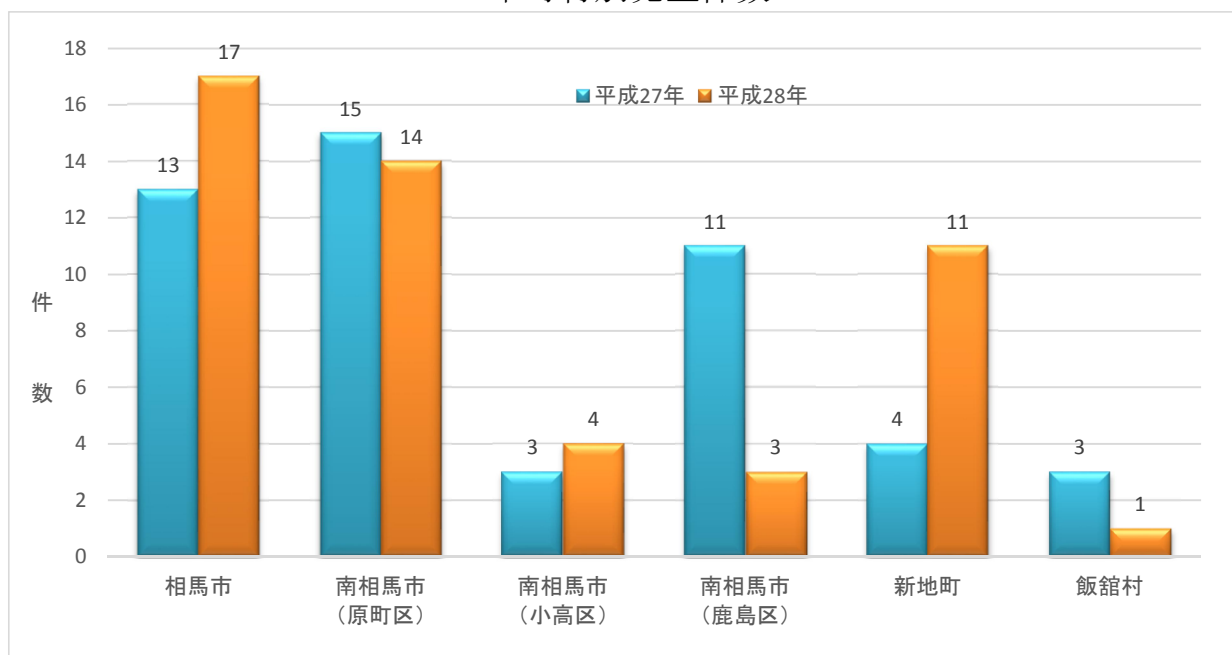


火 災 発 生 状 況

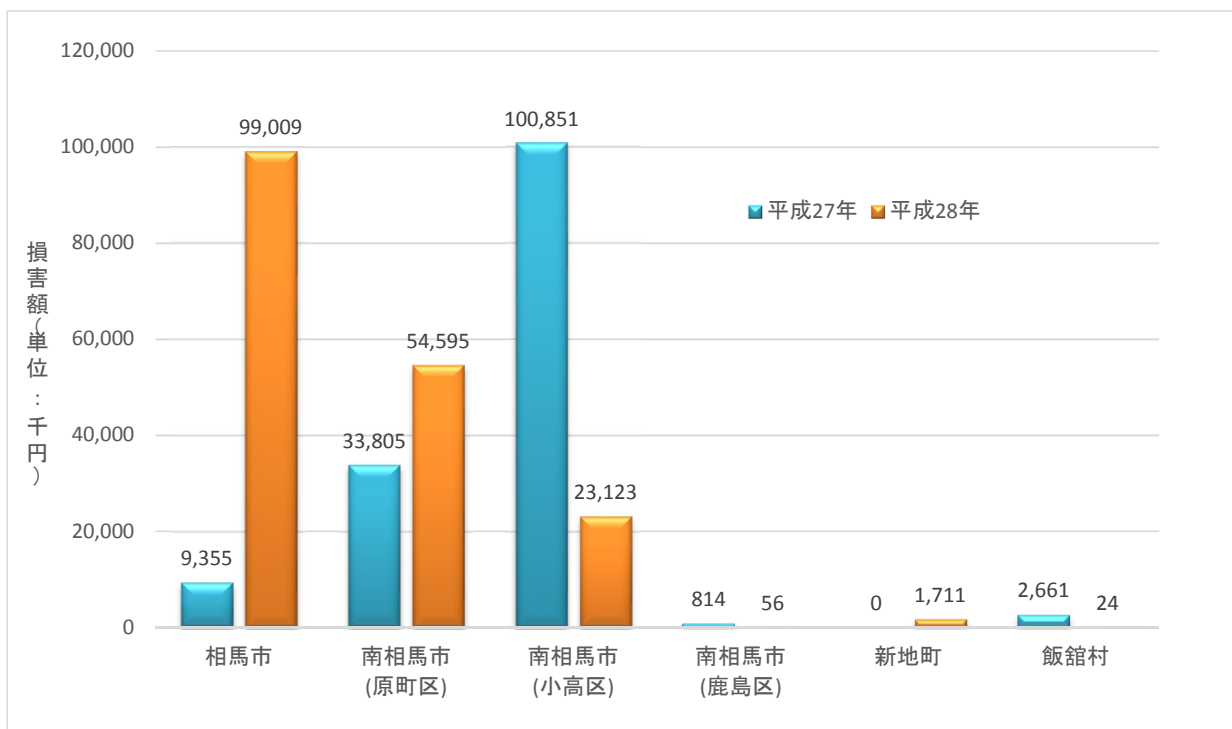
(平成28年)

1	火 災 件 数	50 件
2	損 害 額	147,486 千円
3	建物焼失床面積	3,784 m ²
4	林野焼失面積	3,255 a
5	焼 死 者	0 名
6	負 (火) 傷 者	2 名

市町村別発生件数



市町村別損害額



市 町 村 別 火 災 発 生 状 況

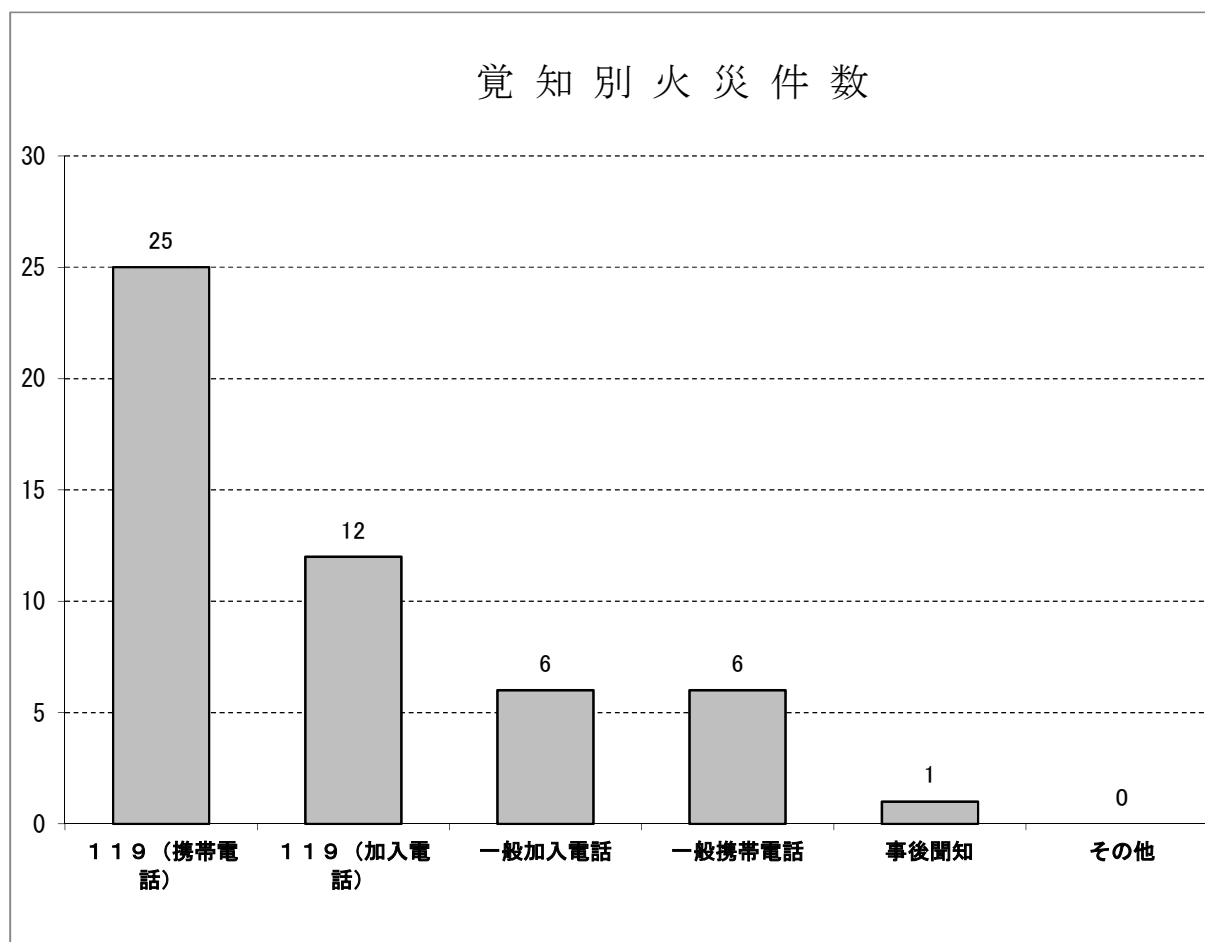
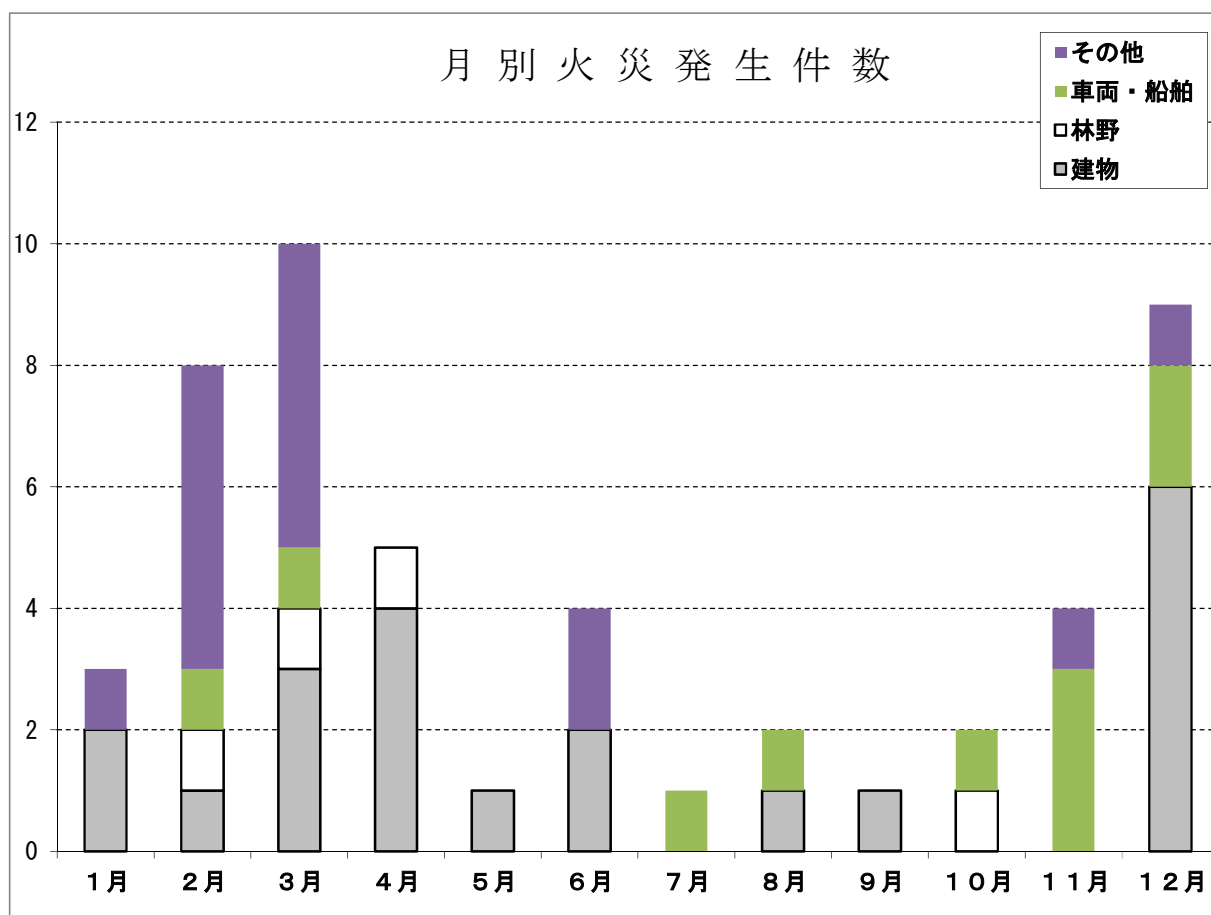
(平成28年)

市町村別 種 別		相馬市	(南相馬市) 原町区	(南相馬市) 小高区	(南相馬市) 鹿島区	新地町	飯舘村	計
発 生 件 数		17	14	4	3	11	1	50
火 災 種 別	建 物 火 災	8	8	2		2	1	21
	林 野 火 災		2			2		4
	車 両 火 災	4	2	2	1	1		10
	船 舶 火 災							0
	その他の火災	5	2		2	6		15
焼 損 棟 数	火 元 棟	全 焼	5	5	1	1		12
		半 焼						0
		部 分 焼		1		1		2
		ぼ や	3	3			1	7
	類 焼 棟	全 焼	2	7	1			10
		半 焼		1				1
		部 分 焼	1	6				7
		ぼ や	2	1	1			4
り 災 世 帯	全 損		3	2	2			7
	半 損			1				1
	小 損		1	4	1	1		7
	り 災 人 員		13	18	9	7		47
死 傷 者	死 者							0
	負 傷 者			1	1			2
焼 失 面 積	建 物	床面積 (㎡)	1,856	1,558	363	7		3,784
		表面積 (㎡)	3	18		1		22
	林 野 (a)			3,200		55		3,255
火 災 損 害 額 (単位／千円)	建 物		81,326	40,850	12,933	45		135,154
	内 容 物		15,239	12,556	5,796			33,591
	林 野			350		1,666		2,016
	車 両		1,764					1,764
	船 舶							0
	そ の 他		680	839	4,394	56	24	5,993
	計		99,009	54,595	23,123	1,711	24	178,518

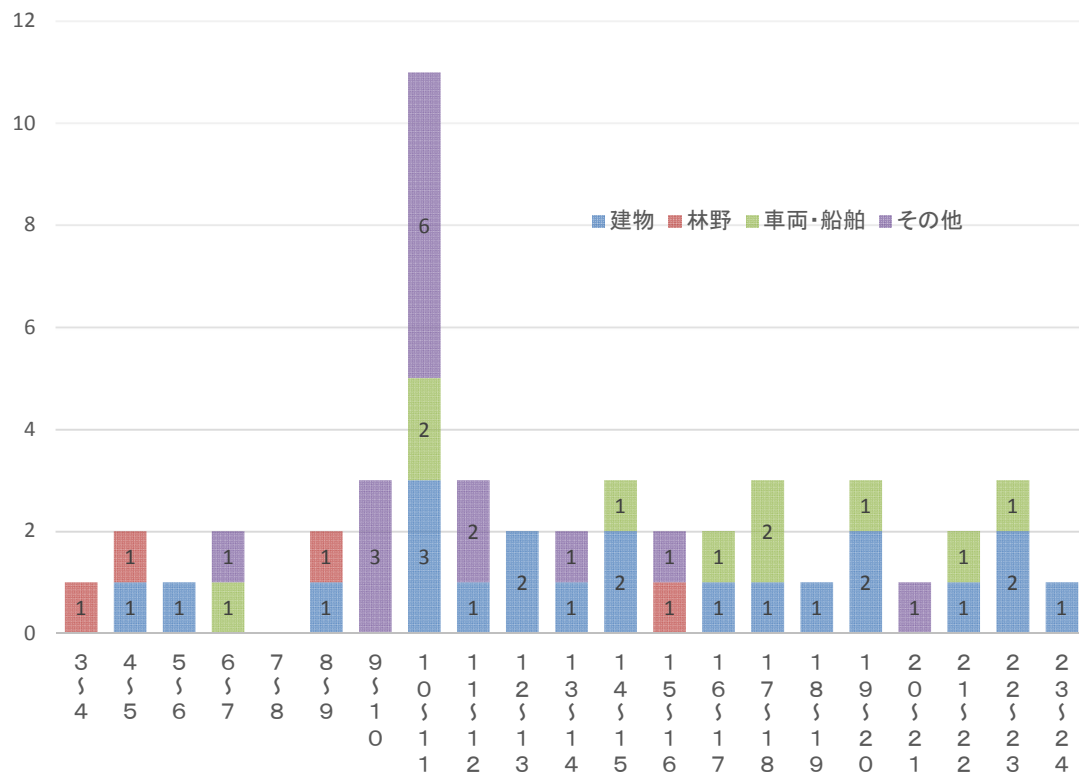
月 別 火 災 発 生 状 況

(平成28年)

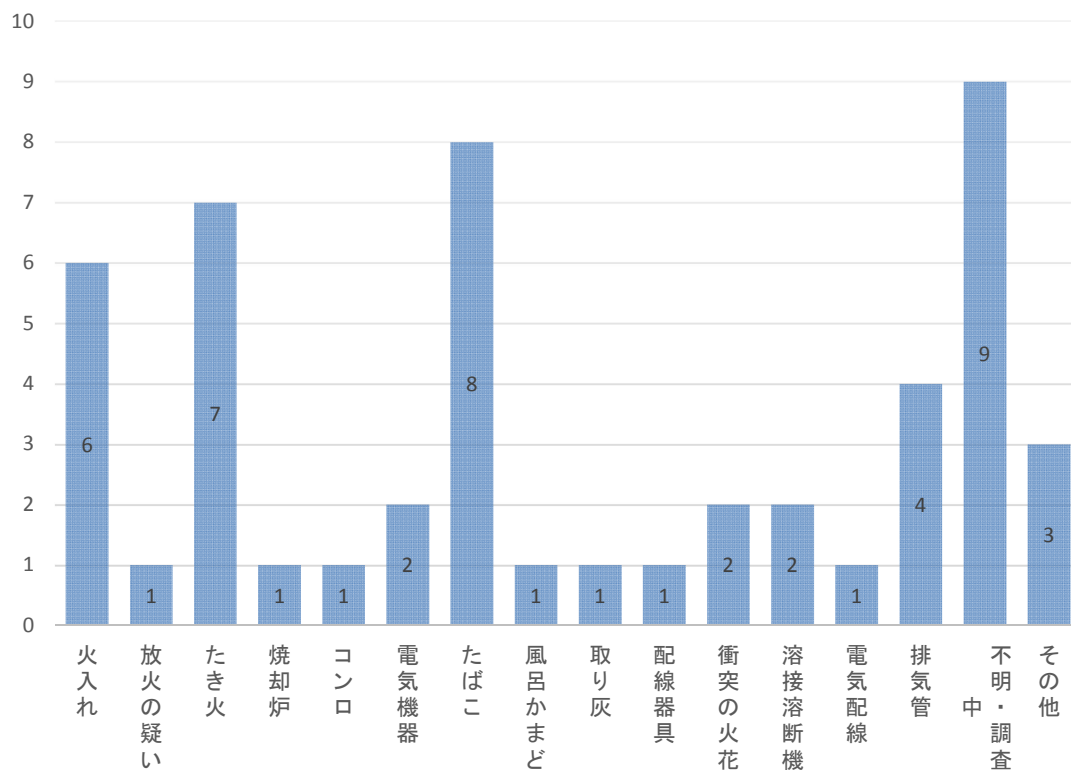
月 別 種 別			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
発 生 件 数			3	8	10	5	1	4	1	2	1	2	4	9	50
火災 種別	建 物 火 災		2	1	3	4	1	2		1	1			6	21
	林 野 火 災			1	1	1						1			4
	車 両 火 災			1	1				1	1		1	3	2	10
	船 舶 火 災														0
	その他の火災		1	5	5			2					1	1	15
焼 損 棟 数	火 元 棟 類	全 焼	2	1	3	3		1						2	12
		半 焼													0
		部 分 焼				1								1	2
		ぼ や				1		1		1	1			3	7
	焼 棟 数	全 焼	2		1	7									10
		半 焼				1									1
		部分焼	1		2	4									7
		ぼ や	3											1	4
り 災 世 帯	全 損		3		1	2								1	7
	半 損					1									1
	小 損		1		1	4								1	7
	り 災 人 員		11		4	24								8	47
死 傷 者	死 者														0
	負 傷 者		1		1										2
焼 失 面 積	建 物	床面積（㎡）	600	1,409	399	1,206		13						157	3,784
		表面積（㎡）	3			19									22
	林 野（a）			20	35	3,200									3,255
火災損害額 （単位／千円）	建 物		16,963	56,093	5,851	33,076								23,171	135,154
	内 容 物		9,219	10,250	615	2,017		10,274			75	56		1,141	33,647
	林 野				1,666										1,666
	車 両								922	3,504			674	170	5,270
	船 舶														0
	そ の 他				291	463	890	680						457	2,781
	計		26,182	66,343	8,423	35,556	890	10,954	922	3,504	75	56	674	24,939	178,518

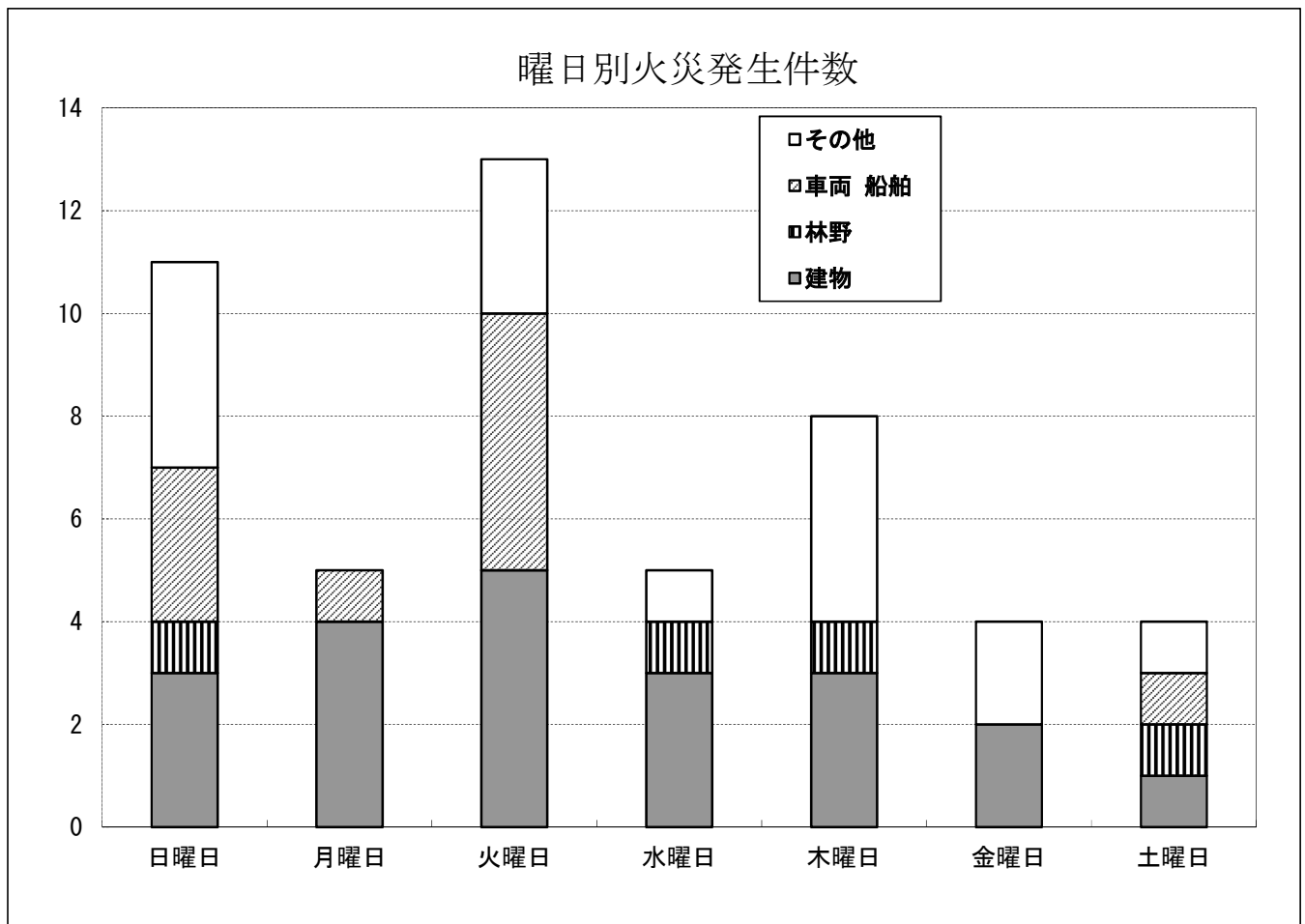


時間別火災発生件数



原因別火災件数





過 去 5 年 間 の 火 災 発 生 状 況

年別 区分	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年
火 災 件 数	50	49	49	65	39
人 口	111,964	113,494	112,124	114,802	115,817
出 火 率 (人口1万人当り)	5.0	4.4	4.4	5.7	3.4
損 害 額 (千円)	178,518	147,486	66,316	254,877	34,027
火 災 一 件 当 り の 損 害 額 (千 円)	3,570	3,010	1,353	3,921	872
建 物 火 災 一 件 当 り の 焼 損 床 面 積 (㎡)	180	37	46	232	67
建 物 火 災 一 件 当 り の 損 害 額 (千 円)	6,143	583	2,239	12,037	1,968
林 野 火 災 一 件 当 り の 焼 損 面 積 (a)	813.7	1.1	0	15	0
林 野 火 災 一 件 当 り 損 害 額 (千 円)	504	0	0	0	0



警 防 統 計



消 防 活 動 状 況 (1)

(平成28年)

署分署別 種 別		相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署				合 計
		本 署	新地分署	本 署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
建物火災	件 数	6	2	15	1	10	1	35
	延 人 員 数	77	13	181	9	38	14	332
	車 両 延 台 数	26	4	55	3	12	5	105
	活 動 延 時 間	13:22	1:15	28:19	2:49	20:08	2:25	68:18
林野火災	件 数	5	2	3		3		13
	延 人 員 数	41	33	21		10		105
	車 両 延 台 数	13	10	6		3		32
	活 動 延 時 間	6:59	5:12	2:36		4:01		18:48
車両火災	件 数	1	1	2		1		5
	延 人 員 数	11	14	18		10		53
	車 両 延 台 数	4	4	6		3		17
	活 動 延 時 間	1:50	1:31	4:50		3:56		12:07
船舶火災	件 数							
	延 人 員 数							
	車 両 延 台 数							
	活 動 延 時 間							
その他の火災	件 数	14	6	9	2	9	2	42
	延 人 員 数	111	60	56	15	35	40	317
	車 両 延 台 数	28	19	17	6	14	13	97
	活 動 延 時 間	16:05	9:04	18:16	5:10	11:47	2:39	63:01
怪偵察出動	件 数	6	4	8		2	1	21
	延 人 員 数	34	17	52		8	1	112
	車 両 延 台 数	12	4	17		3	1	37
	活 動 延 時 間	3:45	1:37	4:48		0:53	0:27	11:30
風水害等	件 数	19	5	4				28
	延 人 員 数	54	15	11				80
	車 両 延 台 数	20	8	4				32
	活 動 延 時 間	28:08	7:53	5:58				41:59
消防訓練	件 数	339	67	510	142	117	208	1383
	延 人 員 数	2350	263	3267	658	493	805	7836
	車 両 延 台 数	188	60	301	97	74	78	798
	活 動 延 時 間	393:50	80:45	414:43	169:10	128:40	167:53	1355:01
訓練指導	件 数	141	51	154	12	70	5	433
	延 人 員 数	242	225	395	77	255	15	1209
	車 両 延 台 数	91	95	149	26	110	8	479
	活 動 延 時 間	99:50	46:35	126:10	10:35	55:30	6:30	345:10

消 防 活 動 状 況 (2)

(平成28年)

種 別		署分署別		南 相 馬 消 防 署				合 計
		相 馬 消 防 署		本 署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
広 報	件 数	103	5	43	52	16	6	225
	延 人 員 数	242	8	66	152	20	12	500
	車 両 延 台 数	99	6	43	80	17	8	253
	活 動 延 時 間	116:25	5:00	43:00	62:45	16:50	5:40	249:40
警 防 調 査	件 数	96	45	60	53	88	110	452
	延 人 員 数	275	167	186	201	371	352	1552
	車 両 延 台 数	97	78	65	79	163	184	666
	活 動 延 時 間	139:30	63:20	75:00	68:59	122:35	190:20	659:44
特 別 警 戒	件 数	70	29	80	85	24	83	371
	延 人 員 数	166	69	167	234	97	214	947
	車 両 延 台 数	70	42	83	129	45	122	491
	活 動 延 時 間	84:40	36:05	60:50	102:55	29:00	190:20	503:50
捜 索	件 数		1					1
	延 人 員 数		7					7
	車 両 延 台 数		3					3
	活 動 延 時 間		3:30					3:30
誤 報 等	件 数	11	1	9	2	6		29
	延 人 員 数	97	4	66	9	21		197
	車 両 延 台 数	35	1	20	3	7		66
	活 動 延 時 間	8:58	0:41	7:51	0:57	4:22		22:49
緊 急 援 助	件 数							
	延 人 員 数							
	車 両 延 台 数							
	活 動 延 時 間							
そ の 他	件 数	96	17	142	17	20	20	312
	延 人 員 数	271	61	390	55	62	33	872
	車 両 延 台 数	97	21	135	17	26	16	312
	活 動 延 時 間	72:47	16:52	124:38	11:44	16:24	14:21	256:46

消 火 活 動 状 況

(平成28年)

区 分		建 物	林 野	船 舶	車 両	そ の 他	合 計
火 災 件 数		21	4		10	15	50
焼失面積 (㎡)	焼 失 面 積	3764.3	325520				
	火 災 1 件 の 平 均 焼 失 面 積	163.67	81380				
出 動 台 数 (台)	総 出 動 台 数	109	42		34	56	241
	火 災 1 件 の 平 均 出 動 台 数	5.19	10.50		3.40	3.73	4.82
出 動 人 員 (人)	総 出 動 人 員	334	133		97	166	730
	火 災 1 件 の 平 均 出 動 人 員	15.90	33.25		9.70	11.07	14.60
放水車両 (台)	総 放 水 台 数	24	4		15	27	70
	火 災 1 件 の 平 均 放 水 台 数	1.14	1.00		1.50	1.80	1.40
使用ホース (本)	総 使 用 ホ ー ス	328	54		39	152	573
	火 災 1 件 の 平 均 使 用 本 数	15.62	13.50		3.90	10.13	11.46
放水時間 (時分)	総 放 水 時 間	17:37	5:21		1:44	6:43	31:25
	火 災 1 件 の 平 均 放 水 時 間	0:50	1:20		0:10	0:26	0:37
放 水 量 (t)	総 放 水 量	618.00	186.0		34.90	154.00	992.90
	火 災 1 件 の 平 均 放 水 量	29.43	46.50		3.49	10.27	19.86

救 助 活 動 状 況

(平成28年)

区 分		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 人 員 (人)				出 動 車 両 (台)			
					消 防 隊 員	救 助 隊 員	救 急 隊 員	計	ポ ン プ 車 等	救 助 工 作 車	救 急 車	計
事 故 種 別	火 災 事 故											
	交 通 事 故	36	17	19	23	109	150	282	7	39	48	94
	水 難 事 故	2	1	1	7	12	12	31	5	2	4	11
	自 然 災 害											
	機 械 事 故	1	1	1		3	3	6		1	1	2
	そ の 他 の 事 故	20	6	6	2	21	27	50		8	8	16
合 計		59	25	27	32	145	192	369	12	50	61	123
相 馬 消 防 署	本 署	24	8	8	7	39	55	101	1	15	15	31
	新 地 分 署											
南 相 馬 消 防 署	本 署	35	17	19	25	106	137	268	11	35	46	92
	小 高 分 署											
	鹿 島 分 署											
	飯 館 分 署											

訓 練 実 施 状 況

(平成28年)

区 分		実施回数 (回)	実施時間 (時間)	実施人員 (人)	月 平 均		
					実施回数 (回)	実施時間 (時間)	実施人員 (人)
訓 練 種 別	規 律	12	8:45	107	1.0	0:43	8.9
	運 転	450	425:50	1560	37.5	35:29	130.0
	消 防 用 器 具 操 法	239	253:05	1153	19.9	21:05	96.1
	消 防 ポ ン プ 操 法	62	87:20	320	5.2	7:16	26.7
	図 上 訓 練	88	65:35	440	7.3	5:27	36.7
	各 種 警 防 訓 練	464	577:47	2730	38.7	48:08	227.5
	体 力 練 成 訓 練	535	267:30	3148	44.6	22:17	262.3
	救 急 処 置 訓 練	265	264:49	1,373	22.1	22:04	114.4
合 計		2,115	1950:41	10,831	176.3	162:33	902.6
相 馬 消 防 署	本 署	689	625:35	3,964	57.4	52:07	330.3
	新 地 分 署	121	135:09	479	10.1	11:15	39.9
南 相 馬 消 防 署	本 署	568	452:40	3,330	47.3	37:43	277.5
	小 高 分 署	166	189:20	756	13.8	15:46	63.0
	鹿 島 分 署	247	252:55	1039	20.6	21:04	86.6
	飯 館 分 署	324	295:02	1263	27.0	24:35	105.3

消 防 車 両 の 配 置 状 況

(平成29年4月1日)

区分 所属		No.	車 両 名	登 録 番 号	メーカー	年式	ポンプ	登 録 年 月 日	経過 年数	備 考
本 部		1	指 令 車	800 す 3766	ト ヨ タ	19		19. 8. 31	9	
		2	指 揮 車	800 す 9926	ト ヨ タ	27		27. 8. 21	1	
		3	災 害 救 援 車	800 せ 175	ト ヨ タ	28		28. 1. 15	1	原子力活動交付金
		4	連 絡 車	580 め 1816	ダイハツ	26		26. 7. 3	2	
		5	クレーン付4 tトラック	100 す 7832	い す ゞ	20		23. 7. 26	5	(株)タダノより寄贈
		6	高規格救急自動車（予備車）	800 す 6395	い す ゞ	13		23. 6. 7	5	全国消防長会寄贈
相 馬 消 防 署	本 署	7	化学消防ポンプ自動車	800 は 91	ニッサン	12	日本ドライ	12. 9. 20	16	日本損害保険協会寄贈
		8	ブーム付き多目的消防ポンプ自動車	800 は 1298	日 野	29	モリタ	29. 2. 13	0	原子力活動交付金
		9	水槽付消防ポンプ自動車	800 は 467	日 野	17	モリタ	17. 12. 12	11	緊急消防援助隊登録
		10	消 防 ポ ン プ 自 動 車	88 す 7509	三 菱	8	NIKKI	8. 11. 29	20	旧新地 P 1 を使用
		11	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800 す 8005	日 野	25	ネイチャー	25. 2. 27	4	緊急消防援助隊登録
		12	高 規 格 救 急 自 動 車	800 す 7233	ニッサン	24		24. 5. 14	4	
		13	高 規 格 救 急 自 動 車	800 す 7047	ト ヨ タ	24		24. 3. 7	5	J A 共済連福島寄贈
		14	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9924	ト ヨ タ	27		27. 8. 21	1	
		15	査 察 兼 広 報 車	800 す 9446	ト ヨ タ	26		26. 10. 10	2	
		16	救 助 工 作 車	800 は 788	日 野	23		23. 6. 6	5	
	新 地 分 署	17	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 す 9590	日 野	26	モリタ	26. 12. 16	2	緊急消防援助隊登録
		18	高 規 格 救 急 自 動 車	800 す 6158	ト ヨ タ	23		23. 1. 14	6	緊急消防援助隊登録
		19	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9954	ト ヨ タ	27		27. 9. 4	1	
南 相 馬 消 防 署	本 署	20	化学消防ポンプ自動車	800 は 1294	日 野	29	モリタ	29. 2. 8	0	原子力活動交付金
		21	化学消防ポンプ自動車	88 や 4043	三 菱	5	モリタ	5. 9. 28	23	旧南相 C 1
		22	ブーム付き多目的消防ポンプ自動車	800 は 1297	日 野	29	モリタ	29. 2. 13	0	原子力活動交付金
		23	水槽付消防ポンプ自動車	800 は 614	日 野	20	日本ドライ	20. 1. 30	9	緊急消防援助隊登録
		24	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800 す 5502	日 野	22	日本ドライ	22. 1. 22	7	緊急消防援助隊登録
		25	消 防 ポ ン プ 自 動 車	88 す 8964	三 菱	9	モリタ	9. 10. 9	19	旧飯館 P 1
		26	高 規 格 救 急 自 動 車	800 す 5739	ニッサン	22		22. 5. 19	6	緊急消防援助隊登録
		27	救 急 自 動 車	800 さ 7953	ト ヨ タ	14		14. 8. 29	14	
		28	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9925	ト ヨ タ	27		27. 8. 21	1	
		29	査 察 兼 広 報 車	800 す 9445	ト ヨ タ	26		26. 10. 10	2	
		30	救 助 工 作 車	800 は 453	日 野	17		17. 10. 17	11	緊急消防援助隊登録
	小 高 分 署	31	水槽付消防ポンプ自動車	88 す 4585	い す ゞ	6	モリタ	6. 10. 7	22	
		32	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 せ 184	日 野	28	モリタ	28. 1. 20	1	原子力活動交付金
		33	高 規 格 救 急 自 動 車	800 す 3121	ト ヨ タ	18		18. 11. 17	10	
		34	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9952	ト ヨ タ	27		27. 9. 4	1	
	鹿 島 分 署	35	水槽付消防ポンプ自動車	88 す 5793	日 野	7	モリタ	7. 10. 4	21	
		36	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 せ 652	日 野	28	モリタ	28. 11. 7	0	原子力活動交付金
		37	消 防 ポ ン プ 自 動 車	88 す 8963	三 菱	9		9. 10. 9	19	旧鹿島 P 1
		38	高 規 格 救 急 自 動 車	800 す 4792	ト ヨ タ	20		20. 12. 16	8	
		39	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9953	ト ヨ タ	27		27. 9. 4	1	
	飯 館 分 署	40	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 せ 185	日 野	28	モリタ	28. 1. 20	1	原子力活動交付金
		41	高 規 格 救 急 自 動 車	800 す 763	ト ヨ タ	16		16. 10. 25	12	
		42	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9444	ト ヨ タ	26		26. 10. 10	2	

消 防 資 機 材 の 保 有 状 況

(平成29年4月1日現在)

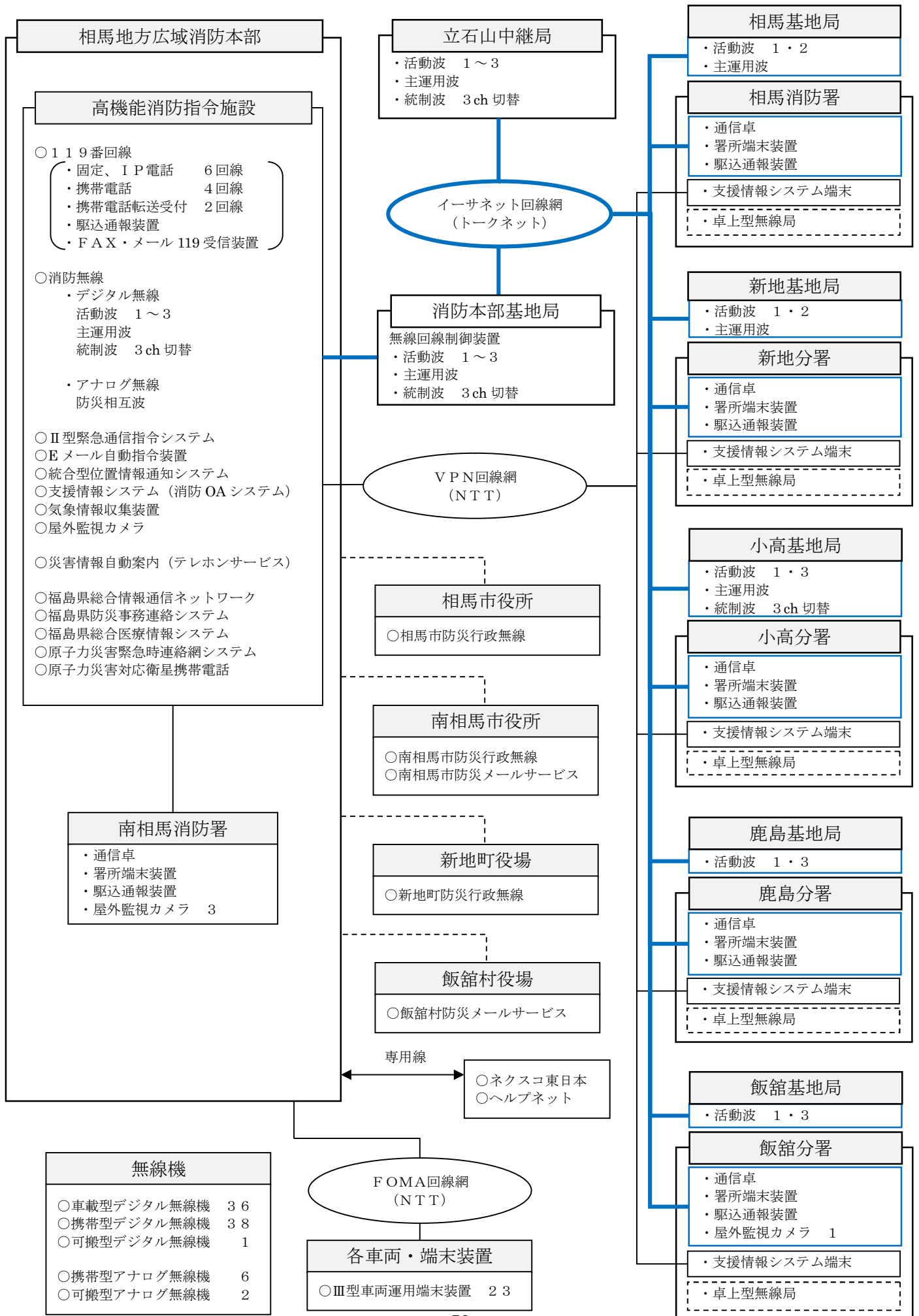
所 属 種 別		本 部	相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署				計
			本 署	新 地 分 署	本 署	小 高 分 署	鹿 島 分 署	飯 館 分 署	
消 火 用 器 具	ホ ー ス カ ー		3	1	2	1	1	1	9
	高 発 泡 ノ ズ ル				2		1		3
	低 発 泡 ノ ズ ル		2	1	2	1	1	1	8
	ロータリーノズル				1	1			2
	無 反 動 管 そ う		4	1	5	1	1	1	13
	フ ォ グ ガ ン		2	2	3	1	2	1	11
	ジェットシューター		12	6	17	6	6	6	53
	ホ ー ス (65 mm)		85	35	125	50	50	35	380
	ホ ー ス (50 mm)		130	65	145	85	85	65	575
	水 幕 ホ ー ス		3	3	3	3	2	2	16
	ディスクストレーナー		2	1	1	1	1	1	7
	ウォーターチャージャー		1	1	1	1	1	1	6
	簡易水槽 (1,000ℓ)		1		1	1			3
	か ぎ 付 梯 子		2		1				3
	二 連 梯 子		2		1		1		4
	三 連 梯 子		3	1	3	2	2	1	12
救 助 用 器 具	万 能 斧		2	1	2	2	1	1	9
	空気式救助マット		1		1				2
	マット型ジャッキ		1		1				2
	救命ゴムボート		1		1		1		3
	救 命 胴 衣		11		14		6	3	34
	救 命 索 発 射 銃		1		1				2
	救 助 用 縛 帯		1		3				4
	舟 型 担 架		2		1				3
	緩 降 器		1		1				2
	ロ ー プ 登 降 機		2		2				4
	油圧スプレッダー		1		1				2
	油 圧 切 断 機		1		1				2
	油 圧 ジ ャ ッ キ		1		1				2
	簡易式ウィンチ		1		1				2
	エンジンカッター		1		1				2
	エ ア ー ソ ー		1		1				2
	チェ ー ン ソ ー		1	1	1	1	1	1	6
	ハンマードリル		1		1				2

種 別 \ 所 属		本 部	相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署				計
			本 署	新地分署	本 署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
救助用器具	削 岩 機		1		1				2
	エアーカッター		1		1				2
	ボルトクリッパー		1		3		2		6
	ガ ス 溶 断 機				1				1
	空 気 呼 吸 器	2	16	8	25	9	9	8	77
	安 全 マ ッ ト	2	1		1				4
救急用器具等	高度救命処置用資機材一式		2	1	1	1	1	1	7
	A E D (自動体外式除細動器)		3	2	3	2	2	2	14
	患 者 監 視 装 置		2	1	2	1	1	1	8
	自動式心肺蘇生装置		2	1	2	1	1	1	8
	シ ョ ッ ク パ ン ツ		1	1	2	1	2	1	8
	室内紫外線殺菌装置		1	1	1	1	1		5
	E O G 方式ガス滅菌器		1						1
	レ サ シ ア ン		4	1	2	1	1	3	12
	リ ト ル ア ン		12	4	19	3	8	5	51
	A E D ト レ ー ナ ー		13	5	14	4	9	7	52
その他の器具等	高度訓練用資機材一式		1		1				2
	有 毒 性 ガ ス 測 定 器		5	1	4	1	1		12
	酸 素 濃 度 測 定 器		3		2	1			6
	放 射 線 測 定 器		2	1	2	1	1	2	9
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器		3		2	1			6
	火災原因調査用ガス検知器				1		1	1	3
	高 低 圧 用 検 電 器		2	1	2	1	1	1	8
	原因調査用資機材ケース			1			1	1	3
	ポ ケ ッ ト 型 線 量 計	354	33	14	34	15	15	14	479
	サ ー ベ イ メ ー タ ー	51	5	2	3	3	2	3	69
	電離箱式サーベイメーター	1	1		1				3
	耐 熱 防 護 服		2	1	2	2	1		8
	耐 電 用 防 護 服		4		2				6
	指 揮 隊 ベ ス ト		3	3	3	3	3	2	17
	ク ー リ ン グ ベ ス ト	6	18	5	14	5	5	5	58
	化学防護服(陽圧式)		10		4				14
	放 射 能 防 護 服		3		3				6
	発 動 発 電 機	1	3	2	4	2	2	2	16
	送 排 風 機		1		1				2
	投 光 器	1	5	1	3	2	1	1	14
	可 搬 式 温 風 機	1							1
	可 搬 式 冷 風 機	1							1
	エ ア ー テ ン ト	2							2
	除 染 テ ン ト	1							1
	ホ ー ス 巻 取 り 機			1	1		1		3

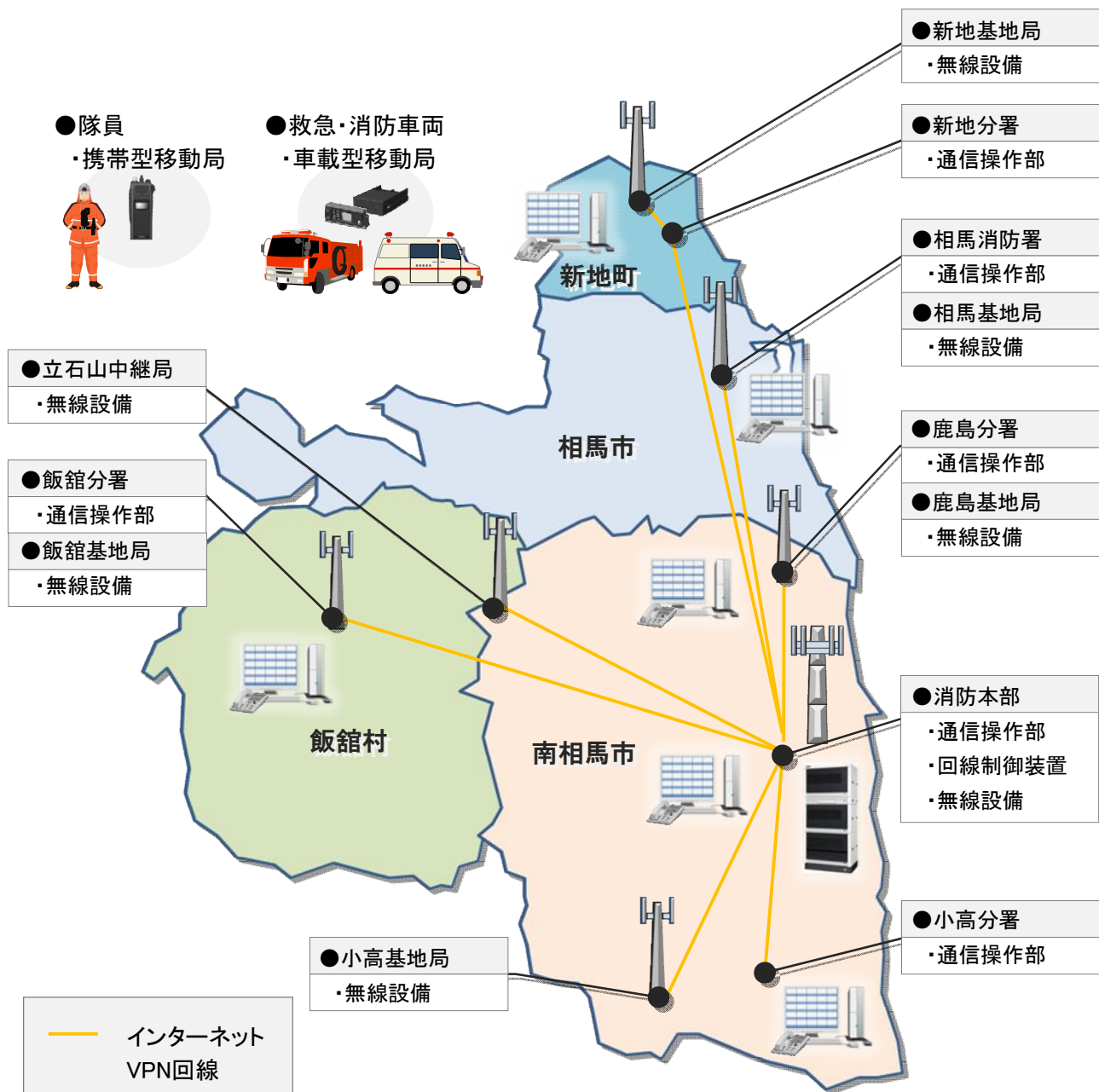
種 別 \ 所 属		本 部	相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署				計
			本 署	新 地 分 署	本 署	小 高 分 署	鹿 島 分 署	飯 館 分 署	
その他の 器具等	差 込 異 径 媒 介								
	マルチボールバルブ		1	1	1	1	1	1	6
	M C ス イ ベ ル		3	1	3	1	1		9
	ヘリ用吹き流し			1		1	1	2	5
	現場指揮本部旗	1	1	1	1	1	1	1	7
	備蓄用泡消火薬剤		55	13	55	10	10	9	152
	A火災用泡消火薬剤	2	10	8			8		28
	緊急消防援助隊資器材搬送リュックサック	5							5
水難 救助 器具	ダ`化`ン`グ`用ウエットスーツ一式		5		3				8
	レスキューチューブ		2		3				5
	ポ ー タ ー ボ ー ト		1		1				2
	ライフジャケット	11	18	15	18	13	13	9	97
	セフティーボード		3		2				5

通 信 系 統 図

平成28年6月1日現在



■消防救急デジタル無線 整備概要



通 信 施 設 状 況

(平成29年4月1日現在)

種 別	所 属	消 防 本 部	相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署				計
			本 署	新 地 分 署	本 署	小 高 分 署	鹿 島 分 署	飯 館 分 署	
固定, IP119 専用電話		6							6
携 帯 119 専 用 電 話		4							4
メー ル 119		1							1
F A X 119		1							1
直 通 電 話		2	1	1	1	1	1	1	8
一 般 加 入 電 話		4	2	2	2	2	2	2	16
庁 内 電 話		20	16	4	16	9	4	4	73
電 話 フ ァ ッ ク ス		3	1	1	1	1	1	1	9
携 帯 電 話		3	2	1	2	1	1	1	11
指 令 用 放 送 設 備		1	1	1	1	1	1	1	7
非 常 用 サ イ レ ン			1	1		1	1	1	5
駆 け 込 み			1	1	1	1	1	1	6

無 線 機 配 備 状 況

(アナログ無線)

凡例 (搭載周波数) ①県内共通波 ②市町村1波 ③市町村2波 ④全国共通1

⑤全国共通2 ⑥全国共通3 ⑦防災総互波

(平成29年4月1日現在)

所属	無線種別	呼 出 名 称	製造社名	出力W	搭載周波数	備 考
消 防 本 部	携帯型 移動局	そうまぼうさい1	日立電子	10	⑦	
		そうまぼうさい2	日立電子	10	⑦	
		そうまぼうさい1 1	日立電子	5	⑦	
		そうまぼうさい1 2	日立電子	5	⑦	
		そうまぼうさい1 3	日立電子	5	⑦	
		そうまぼうさい1 4	日立電子	5	⑦	
		そうまぼうさい1 5	日立電子	5	⑦	
		そうまぼうさい1 6	日立電子	5	⑦	

無線機配備状況

(デジタル無線)

凡例 (搭載周波数) ①活動波1 ②活動波2 ③活動波3 ④主運用波4 ⑤主運用波1～7 ⑥統制波1～3

(平成29年4月1日現在)

所属	無線種別	呼 出 名 称	製造社名	出力W	搭載周波数	備 考
消防本部	基地局	そうましょうぼうたていしやまちゅうけい	日立	20	①②③④ ⑥	
	基地局	そうましょうぼうほんぶ	日立	20	①②③④ ⑥	
	卓上型	そうましょうぼうほんぶ1	日立	5	①②③④ ⑥	
	車載型	ほんぶしれい1	日立	5	①②③ ⑤⑥	ハイブリッド車
		ほんぶしれい2	日立	5	①②③ ⑤⑥	
		さいがいきゅうえん1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
		ほんぶきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥	高規格救急車(予備車)
	携帯型	ほんぶ1 1	日立	2	①②③ ⑤⑥	
		ほんぶ1 2	日立	2	①②③ ⑤⑥	
		ほんぶ1 3	日立	2	①②③ ⑤⑥	
		ほんぶ1 4	日立	2	①②③ ⑤⑥	
		ほんぶ1 5	日立	2	①②③ ⑤⑥	
		ほんぶ1 6	日立	2	①②③ ⑤⑥	
	可搬型	ほんぶ2 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
相馬消防署	本署	基地局	しょうぼうそうま	日立	20	①② ④
		卓上型	しょうぼうそうま1	日立	5	①②③④ ⑥
		車載型	そうましき1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうましき2	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまポンプ1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまポンプ2	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまタンク1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまきゅうじょ1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまとくしゅ1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまかがく1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			そうまきゅうきゅう2	日立	5	①②③ ⑤⑥
		携帯型	そうま1 1	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 2	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 3	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 4	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 5	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 6	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 7	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 8	日立	2	①②③ ⑤⑥
			そうま1 9	日立	2	①②③ ⑤⑥
	新地分署	基地局	しょうぼうしんち	日立	20	①② ④
		卓上型	しょうぼうしんち1	日立	5	①②③④ ⑥
		車載型	しんちしき1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			しんちポンプ1	日立	5	①②③ ⑤⑥
			しんちきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥
		携帯型	しんち1 1	日立	2	①②③ ⑤⑥
			しんち1 2	日立	2	①②③ ⑤⑥
			しんち1 3	日立	2	①②③ ⑤⑥

所属	無線種別	呼 出 名 称	製造社名	出力W	搭載周波数	備 考	
南相馬消防署	本署	車載型	なんそうしき 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうしき 2	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうポンプ 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうポンプ 2	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうタンク 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうきゅうじょ 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	救助工作車
			なんそうとくしゅ 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	ブーム付き多目的消防ポンプ自動車
			なんそうかがく 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	化学車
			なんそうきゅうきゅう 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうきゅうきゅう 2	日立	5	①②③ ⑤⑥	高規格救急車
		携帯型	なんそう 1 1	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 2	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 3	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 4	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 5	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 6	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 7	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 8	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう 1 9	日立	2	①②③ ⑤⑥	
	小高分署	基地局	しょうぼうおだか	日立	20	① ③④ ⑥	
		卓上型	しょうぼうおだか 1	日立	5	①②③④ ⑥	
		車載型	おだかしき 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			おだかポンプ 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			おだかタンク 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			おだかきゅうきゅう 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	高規格救急車
		携帯型	おだか 1 1	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			おだか 1 2	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			おだか 1 3	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			おだか 1 4	日立	2	①②③ ⑤⑥	
	鹿島分署	基地局	しょうぼうかしま	日立	20	① ③	
		卓上型	しょうぼうかしま 1	日立	5	①②③④ ⑥	
		車載型	かしましき 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			かしまポンプ 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			かしまタンク 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			かしまきゅうきゅう 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	高規格救急車
		携帯型	かしま 1 1	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			かしま 1 2	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			かしま 1 3	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			かしま 1 4	日立	2	①②③ ⑤⑥	
	飯館分署	基地局	しょうぼういいたて	日立	20	① ③	
		卓上型	しょうぼういいたて 1	日立	5	①②③④ ⑥	
		車載型	いいたてしき 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			いいたてポンプ 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			いいたてきゅうきゅう 1	日立	5	①②③ ⑤⑥	高規格救急車
		携帯型	いいたて 1 1	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			いいたて 1 2	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			いいたて 1 3	日立	2	①②③ ⑤⑥	

消 防 水 利 の 現 有 状 況

(平成29年4月 1 日現在)

(平成29年1月1日現在)

所 属 種 別			相 馬 消 防 署	南 相 馬 消 防 署	小 高 分 署	鹿 島 分 署	新 地 分 署	飯 館 分 署	計
消 火 栓	公 設	地 下 （ 単 ）	286	704	38	163	6	34	1,231
		地 下 （ 双 ）	3			7			10
		地 上 （ 単 ）	219	2	181	7	201	174	784
		地 上 （ 双 ）	1		2	1	57		61
	私 設	地 下 （ 単 ）		1					1
		地 上 （ 単 ）	2						2
防 火 水 槽	公 設	100 m ³ 以 上			2	2	1		5
		40～100m ³ 未満	76	136	69	109	30	60	480
		20～ 40m ³ 未満	18	4	16	22	3		63
	私 設	100 m ³ 以 上							
		40～100m ³ 未満		16	11	14		2	43
		20～ 40m ³ 未満			2			6	8
そ の 他	井 戸	40 m ³ 以 上		4					4
		20～ 40m ³ 未満							
	河 川 ・ 溝 等								
	海 ・ 湖								
	プ ー ル		11	16	6	4	4	3	44
	濠 ・ 池 等		7						7
	下 水 道								
	そ の 他		72	30	12				
合 計			695	913	339	329	302	279	2,857



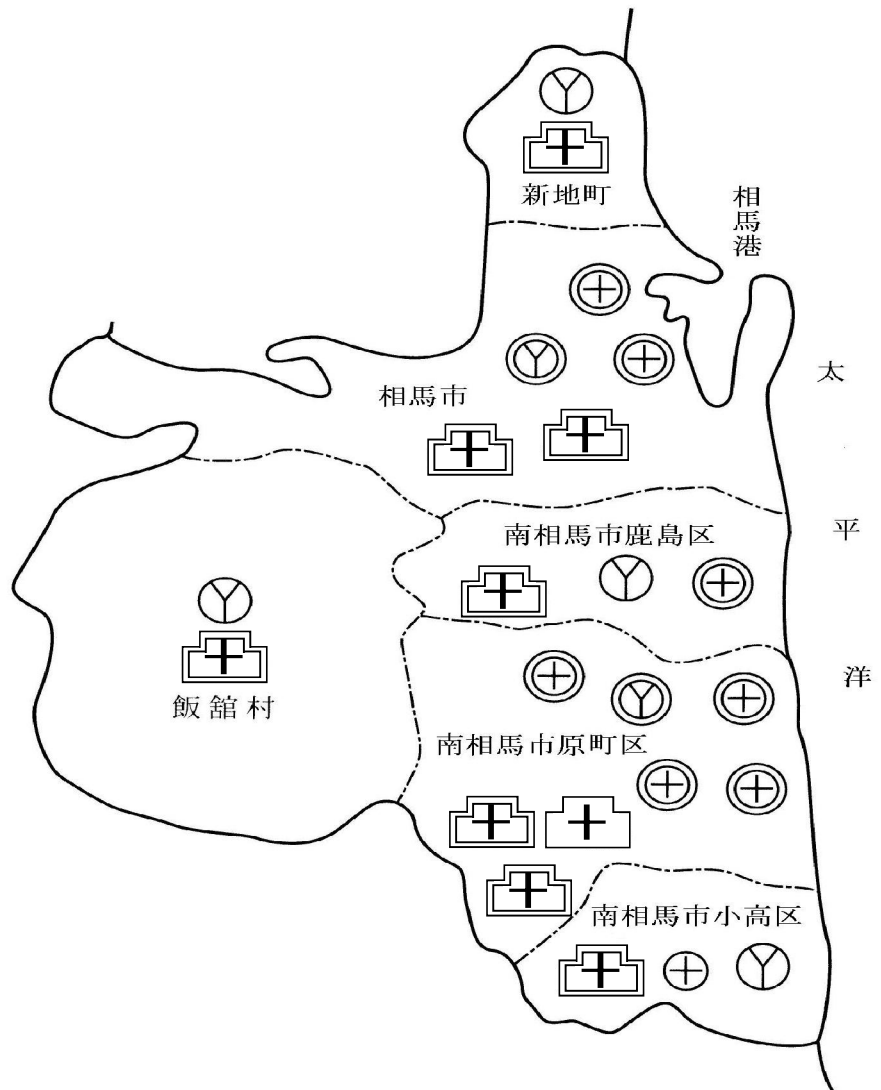
救 急 統 計



相馬地方救急現勢分布図

凡 例

	消 防 署
	消 防 分 署
	救急指定病院
	救急協力病院
	高規格救急車
	救 急 車



救急出場件数及び搬送人員 (平成28年)

件 数 所属別		出場件数	搬送人員
相 馬 消防署	本 署	1, 344	1, 160
	新 地 分 署	377	350
南相馬 消防署	本 署	2, 033	1, 808
	小 高 分 署	199	173
	鹿 島 分 署	573	533
	飯 舘 分 署	74	73
合 計		4, 600	4, 097

救急隊別事故種別出場件数

(平成28年)

事故種別 救急隊別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
相馬隊				108	11	10	171	7	15	876	146	1,344
南相馬隊	1		1	169	17	4	250	3	16	1,380	192	2,033
小高隊				14	13	1	37		1	122	11	199
鹿島隊			1	54	8	3	71	2	3	394	37	573
新地隊	1			34	6	4	44	1	2	228	57	377
飯舘隊	1			20	10		9		3	30	1	74
計	3		2	399	65	22	582	13	40	3,030	444	4,600

傷病程度別搬送人員数

(平成28年)

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死 亡				5	3		7		6	110		131
重 症			1	22	17	1	71		3	266	133	514
中 等 症				103	21	3	208	3	14	1,365	282	1,999
軽 症	1			252	19	15	226	6	3	909	19	1,450
そ の 他										3		3
計	1		1	382	60	19	512	9	26	2,653	434	4,097

※その他のその他は防災ヘリ収容

年齢区分別搬送人員数

(平成28年)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新 生 児											9	9
乳 幼 児			1	5			12			56	12	86
少 年				20		14	11	1		37	3	86
成 人	1			239	54	4	132	7	20	747	166	1,370
老 人				118	6	1	357	1	6	1,813	244	2,546
計	1		1	382	60	19	512	9	26	2,653	434	4,097

曜 日 別 出 場 件 数

(平成28年)

曜 日	日	月	火	水	木	金	土	計
件 数	616	709	673	630	628	660	684	4,600

時 間 別 出 場 件 数

(平成28年)

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
時 間 別 内 訳	0 ～ 2				5			27	6	5	142	4	189
	2 ～ 4				3	1		15		1	134	5	159
	4 ～ 6				9			21		1	146	4	181
	6 ～ 8				65	1		44		5	291	15	421
	8 ～ 10				63	18	2	82	1	4	393	48	611
	10 ～ 12			1	59	15	4	68		3	317	102	569
	12 ～ 14			1	34	8	3	68		3	280	86	483
	14 ～ 16				52	12	10	71		4	259	66	474
	16 ～ 18	3			50	9	3	71	2	5	289	44	476
	18 ～ 20				33	1		46	1	3	344	32	460
	20 ～ 22				16			38	2	4	258	31	349
	22 ～ 24				10			32	1	2	176	7	228
計		3		2	399	65	22	583	13	40	3,029	444	4,600

覚 知 別 出 場 件 数

(平成28年)

種 別	1 1 9 番	一般電話	駆け付け	その他	計
件 数	3,734	309	25	29	4,097

(119番は携帯119番IP電話も含む)

救急隊員の行った応急処理状況

(平成28年)

区 分 \ 事故種別	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
搬 送 人 員	2,653	382	512	550	4,097
応 急 処 置 対 象 人 員	2,646	378	507	536	4,067

区 分 \ 事故種別	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
止 血	16	30	73	17	136
固 定	8	163	82	35	288
人 工 呼 吸	79	4	8	11	102
胸 骨 圧 迫	13	1			14
うち 自動					
心 肺 蘇 生	74	5	9	11	99
酸 素 吸 入	713	28	57	167	965
気 道 確 保	153	6	14	17	190
うちエアウェイ	3				3
うち食道閉鎖式エアウェイ	22	1	4	1	28
うち気管挿管	3		2		5
静 脈 路 確 保 輸 液	51	6	5	4	66
うち薬剤投与	22	2	2	1	27
除 細 動	12			1	13
異 物 除 去	2		3		5
保 温	1,729	196	305	388	2,618
被 覆	14	43	94	23	174
在 宅 療 法	45	1	5	13	64
血 圧 測 定	2,480	366	485	480	3,811
聴 診 器 聴 取	851	100	86	60	1,097
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	2,515	370	487	491	3,863
心 電 図 測 定	1,297	42	91	136	1,566
そ の 他 の 応 急 処 置	108	5	7	12	132

福島県ドクターヘリ要請概要

(平成20年1月28日運用開始)

1 月別事故種別要請件数

(平成28年)

月別	事 故 種 別												計
	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	
1				2	2		1			3	1		9
2				1	3					2	2		8
3				2									2
4				3	1		1				1		6
5				5	2					3			10
6										1			1
7				1	2		2						5
8			1	1	1		1				1		5
9													
10				3							2		5
11				1	1						1		3
12											3		3
計			1	19	12		5			9	11		57

2 所属別事故種別要請件数

(平成28年)

所属別	事 故 種 別												計
	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	
相 馬				6	1		2			3	1		13
新 地					3					1	1		5
南相馬				5	4		1			2	8		20
小 高				2	1		1			1			5
鹿 島			1	3			1			1	1		7
飯 舘				3	3					1			7
計			1	19	12		5			9	11		57

常磐自動車道関連事故対応状況

平成24年 4月8日 相馬 IC、南相馬 IC 間 開通
 平成26年12月6日 浪江 IC から山元 IC 間 開通
 平成27年 3月1日 常磐高速自動車道全線開通
 (常磐富岡 IC から浪江 IC 間開通)

○救急出場

	発生日時	発生場所	種別	出動所属	傷病者	出動隊	出動人員	事故概要	備考
1	平成25年3月1日	相馬IC 下りランプ	交通	相馬 新地	1名	相馬指揮 相馬T1 相馬R1 相馬C1 新地救急	12名	乗用車の 運転操作 ミス	重症 火災警戒出動有
2	平成26年3月19日	相馬～南相馬 IC間上り線 本線上	交通	相馬 南相馬	2名	南相馬T1 南相馬R1 南相馬救急 相馬救急	12名	乗用車の 運転操作 ミス	重症、軽症 各1名
3	平成26年3月22日	相馬IC接道	交通	相馬	2名	相馬T1 相馬R1 相馬救急	9名	乗用車の 運転操作 ミス	相馬ICをDrヘリの ヘリポートに 選定し活動
4	平成26年5月29日	南相馬IC 下りランプ	交通	本部 相馬 南相馬	1名	本部指揮 相馬C1 相馬R1 相馬救急 南相馬T1 南相馬R1 南相馬救急	20名	8t特殊車 両、道路 外へ横転	軽症
5	平成27年1月30日	相馬～新地IC 間下り線 本線上	交通	相馬 新地	2名	相馬R1 相馬救急 新地P1	3名	普通ワゴン車が積 雪路走行 中スリップ	中等症
6	平成27年6月9日	相馬IC	急病	相馬	1名	相馬救急	3名	本線走行 中体調不 良により 相馬IC事 務所に駆け込み	中等症
7	平成27年6月22日	南相馬IC ～浪江IC間 本線上	交通	南相馬	1名	南相救急 南相R1	6名	普通ワゴン車の単 一事故	同時出動の双葉 救急隊により搬 送
8	平成27年7月11日	鹿島SA入口	交通	相馬 南相馬	1名	相馬R1 相馬救急 南相T1 南相救急 南相R1	15名	SAへ入ろうとした 大型トラックの 横転	死亡
9	平成27年8月11日	新地IC～山本 IC間	交通	本部 相馬 新地	1名	本部指揮 相馬R1 相馬T1 新地救急	12名	下り線走行中対向 車線へは見出し衝突	中等症

10	平成27年9月13日	下り線南相馬 ICランプ	交通	相馬 南相馬	1名	南相T1 南相救急 南相R1 相馬救急 相馬R1	15名	大形バイクの転倒	死亡 双葉広域消防の 出動有
11	平成27年9月20日	鹿島SA内	急病	鹿島	1名	鹿島救急	3名	女性胸の 苦しみ	中等症
12	平成27年9月22日	相馬IC～ 新地IC間 下り本線上	急病	相馬	1名	相馬T1 相馬救急	6名	両手足の しびれ間	軽症
13	平成27年10月18日	鹿島SA下り	急病	鹿島	1名	鹿島救急	3名	背部痛	中等症
14	平成27年11月17日	鹿島SA下り	急病	鹿島	1名	鹿島救急 南相R1	6名	脳血管障 害	重症
15	平成27年11月18日	新地IC～ 山本IC間 下り本線上	交通	相馬 南相馬	1名	相馬R1 相馬T1 南相救急	10名	大形ト ラックが 軽乗用車 に追突	軽症
16	平成27年12月2日	南相馬IC～相 馬IC間 下り本線上	労働災 害	相馬	1名	相馬救急 相馬R1	6名	ネクスコ 職員故障 車両移動 中受傷	中等症
17	平成28年1月13日	相馬IC～ 新地IC間 本線下り	交通	相馬	1名	相馬救急1 相馬R1 相馬T1	11名	車両1台の 単独事故	中等症
18	平成28年2月16日	南相馬IC～浪 江IC 本線上り	急病	南相馬	1名	南相救急2 南相T1	6名	運転中胸 痛を発症	中等症
19	平成28年3月5日	相馬IC 出口料金所	交通	相馬	1名	相馬救急2	3名	出口料金 所での玉 突き事故	軽症
20	平成28年3月22日	相馬IC～ 山元IC 本線下り	交通	相馬 新地	無	本部指令2 相馬T1 相馬R1 相馬C1	11名	車両火災の 指令で出場 したが、軽 自動車の単 独事故であ った	傷病者無

21	平成28年5月4日	浪江IC～ 常磐富岡IC 本線上り	交通	管轄外	2名	南相救急1 南相救急2 南相R1	9名	バスと乗 用車の衝 突事故	死亡1 軽症1
22	平成28年5月6日	南相馬IC付近 本線下り	交通	南相馬	1名	本部指令2 南相救急2 南相T1 南相R1	12名	バイクの 単独事故	軽症
23	平成28年6月1日	南相馬IC～ 浪江IC 本線下り	急病	南相馬	無	南相救急1 南相T1	6名	具合が悪 くなった	不搬送
24	平成28年6月13日	鹿島SA 上り駐車場内	急病	相馬	1名	相馬救急1	3名	男性 駐車場内 で背部痛 を発症	軽症
25	平成28年6月13日	鹿島SA 上り駐車場内	急病	鹿島	1名	鹿島救急1	3名	回転性め まい及び 嘔吐	軽症
26	平成28年7月4日	鹿島SA 上り駐車場内	急病	鹿島	1名	鹿島救急1	3名	胸苦及び 背部痛	中等症
27	平成28年8月13日	相馬IC 料金所付近 接道	急病	相馬	1名	相馬救急2 相馬R1	6名	痙攣発作	中等症
28	平成28年8月15日	新地IC～ 山元IC 本線下り	急病	新地	1名	新地救急1 相馬R1	7名	運転中 目まいを 発症	軽症

○その他の出動

	発生日時	発生場所	種別	出動 所属	傷病者	出動隊	出動人 員	事故概要	備考
1	平成25年 10月25日	相馬～南相馬 IC間上り線 本線上	偵察	本部 相馬 南相馬	なし	本部指揮 相馬T1 相馬C1 相馬R1 南相馬T1 南相馬C1 南相馬R1	21名	トラック の荷台か ら出火	現場確認できず

過 去 10 年 間 の 救 急 業 務 の 推 移

区 分	出場件数	搬送人員	一日平均 出場件数	内 訳 (件数)				
平成18年	3,852	3,719	10.6	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,405	474	448	32	48
平成19年	3,954	3,781	10.8	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,543	442	470	40	55
平成20年	3,815	3,568	10.5	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,379	457	443	33	62
平成21年	3,797	3,523	10.4	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,380	424	485	29	64
平成22年	4,148	3,808	11.4	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,557	461	524	37	53
平成23年	3,740	3,415	10.2	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,475	299	388	38	50
平成24年	3,796	3,515	10.4	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,478	343	465	39	46
平成25年	3,811	3,478	10.4	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,500	328	477	33	52
平成26年	4,317	3,819	11.8	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,730	432	532	55	54
平成27年	4,513	4,097	12.4	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				2,496	450	474	69	20
平成28年	4,600	4,097	12.6	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	自損行為
				3,030	399	582	65	40

救命講習会の実施状況

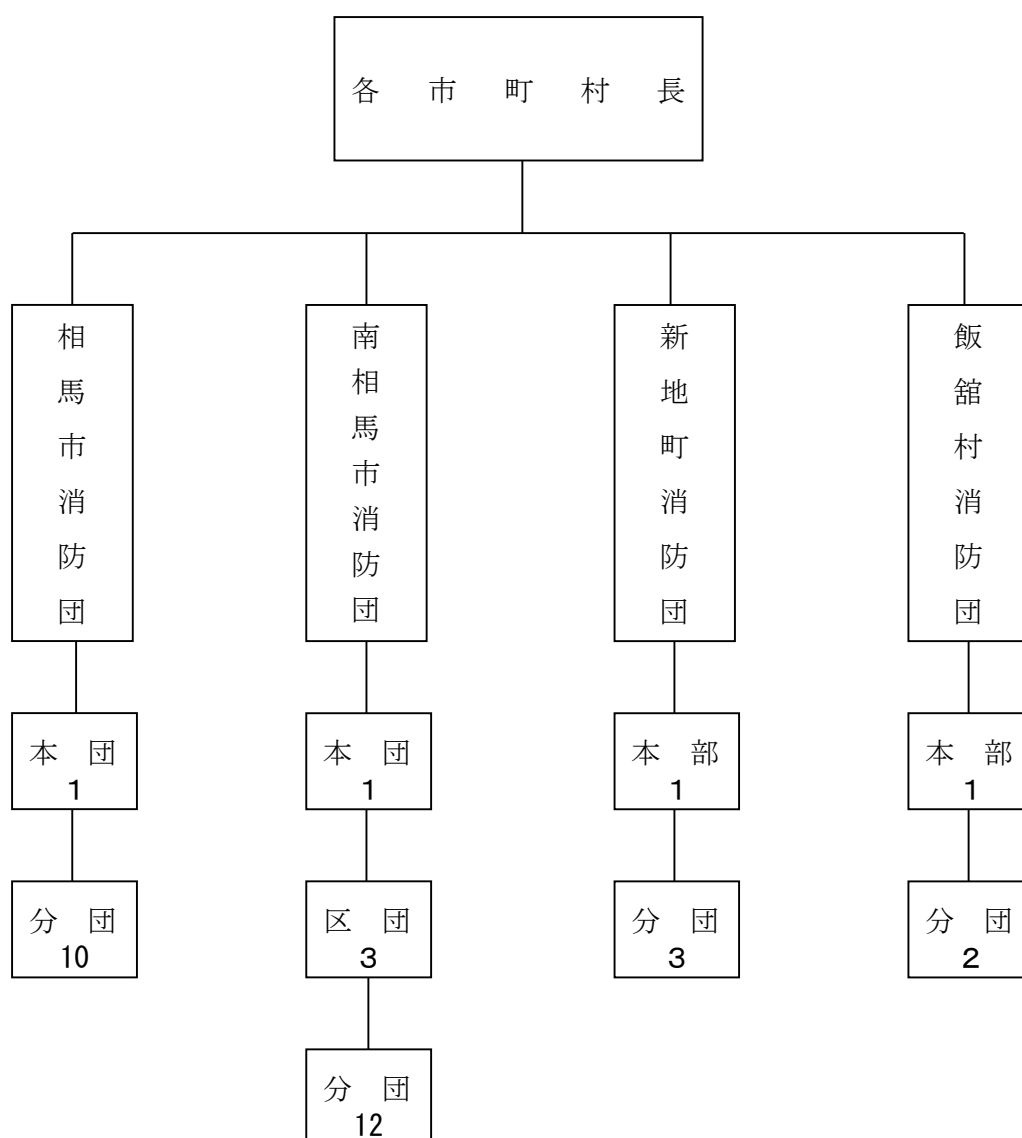
所 属 年 別		相馬消防署		南 相 馬 消 防 署				計
		本 署	新地分署	本 署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
平成7年 ～ 平成17年	回 数	276	59	448	190	118	141	1,232
	受講者数	8,465	2,590	10,031	5,475	3,607	2,839	33,007
平成18年	回 数	47	7	41	24	17	11	147
	受講者数	1,526	144	831	555	235	263	3,554
平成19年	回 数	50	4	47	23	11	6	141
	受講者数	1,748	162	982	508	284	195	3,879
平成20年	回 数	74	10	89	26	13	12	224
	受講者数	2,202	252	1,656	523	299	270	5,202
平成21年	回 数	66	13	71	28	15	15	208
	受講者数	1,571	483	1,384	585	315	250	4,588
平成22年	回 数	58	15	47	24	17	11	172
	受講者数	1,445	403	974	503	387	173	3,885
平成23年	回 数	16	4	21	4	11	3	59
	受講者数	301	169	463	46	222	51	1,252
平成24年	回 数	37	8	29		8	1	83
	受講者数	1,131	323	508		215	6	2,183
平成25年	回 数	25	9	38	2	11		85
	受講者数	801	264	642	51	268		2,026
平成26年	回 数	38	8	39	11	11	4	111
	受講者数	1,041	338	757	373	246	44	2,799
平成27年	回 数	34	12	30	10	11	1	98
	受講者数	1,086	384	685	210	315	11	2,691
平成28年	回 数	32	12	35	7	13	10	109
	受講者数	1,087	304	856	233	271	195	2,946
計	回 数	753	161	935	349	256	215	2,669
	受講者数	22,404	5,816	19,769	9,062	6,664	4,297	68,012



消防団・関係団体等

相馬地方広域市町村消防団の組織

(平成 29 年 4 月 1 日現在)



市町村消防団名	団 長 名	副 団 長 名	定 員	実 員
相 馬 市 消 防 団	荒 忠 夫	山 田 行 雄 鎌 田 重 昭	5 5 4	5 1 8 (0)
南相馬市消防団	長 澤 初 男	山 見 重 信 片 岡 芳 廣	1, 3 5 6	1, 1 1 7 (11)
新 地 町 消 防 団	角 田 正 悦	岡 崎 仁 一	3 1 9	2 9 8 (13)
飯 舘 村 消 防 団	高 野 進	赤 石 澤 傳	2 6 5	2 1 5 (3)
合 計			2, 4 9 4	2, 1 4 8 (27)

※ () 内は、女性消防団員数

階 級 別 実 員 数

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

階 級 消防団名		団 長	副 団 長	副 区 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
相馬市消防団		1	2		1 2	1 2	2	4 9	4 4 0	5 1 8
南 相 馬 市 消 防 団	原町区団		1 (区団長 兼務)	2	6	1 4	3 8	7 7	3 6 6	5 0 4
	小高区団		1 (区団長 兼務)	1	4	1 1	2 8	3 3	1 5 7	2 3 5
	鹿島区団	1 (区団長 兼務)		1	6	1 4	2 8	2 8	3 0 0	3 7 8
	計	1	2	4	1 6	3 9	8 9	1 3 8	8 2 3	1,117
新地町消防団		1	1		4	6	1 5	2 3	2 4 8	2 9 8
飯舘村消防団		1	1		3	8	2 1	2 6	1 5 5	2 1 5
合 計		4	6	4	3 5	6 5	1 2 7	2 3 6	1,666	2,148

消 防 車 両 の 現 況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

種 別 市町村		水 槽 付 き ポンプ自動車	普 通 ポンプ自動車	小 型 動 力 積 載 付 車	小 型 動 力 ポン プ	広 報 車 等
相 馬 市			6	37	1	
南 相 馬 市	原 町 区	2	2	32	1	2
	小 高 区		2	27		
	鹿 島 区		3	27		
	計	2	7	86	1	2
新 地 町			9	10	2	1
飯 舘 村			2	18	2	1
合 計		2	18	157	4	4

福島県消防協会相馬支部顧問

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

役 職 名	氏 名	在 職 名
顧 問	佐々木 秀三	福島県相双地方振興局長
〃	松崎 幸夫	南相馬警察署長
〃	村上 祐司	相馬警察署長
〃	志賀 丈彦	元福島県消防協会相馬支部長
〃	但野 安俊	元福島県消防協会相馬支部長
〃	佐藤 光孝	元福島県消防協会相馬支部長
〃	荒 利喜	前福島県消防協会相馬支部長

福島県消防協会相馬支部役員

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

役 職 名	氏 名	在 職 名
支 部 長	長澤 初男	南相馬市消防団 長 兼 鹿島区 団 長
副 支 部 長	山見 重信	南相馬市消防団 副団 長 兼 原町区 団 長
〃	高野 進	飯舘村 消 防 団 長
常 務 理 事	小谷 津芳秀	相馬地方広域消防本部 消防長
理 事	片岡 芳廣	南相馬市消防団 副団 長 兼 小高区 団 長
監 事	荒 忠夫	相馬市 消 防 団 長
〃	角田 正悦	新地町 消 防 団 長

消防関係団体等の結成状況

(平成 29 年 5 月 10 日現在)

1 相馬地方

名 称	代 表 者 名	結成年月日	会 員 数
相馬地方女性消防隊連絡協議会	田 代 豊 美	S63. 10. 1	6
相馬地方消防設備協会	菅 野 利 男	S51. 4. 10	53
相馬地方防火安全協会	熊 坂 荘 平	H18. 6. 29	580

2 各市町村女性消防隊

名 称	隊 長 名	結成年月日	隊 員 数
相馬市女性消防隊	吉田久美子	S41. 10. 12	6,572
南相馬市女性消防隊	田代豊美	H18. 1. 1	16,080
原町区隊	堀川榮子	S52. 4. 1	10,492
小高区隊	田代豊美	S37. 4. 1	3,484
鹿島区隊	和泉ひで子	S59. 2. 15	2,104
新地町女性消防隊	半田えみ子	S59. 1. 6	2,609
飯舘村女性消防隊	石井美智子	S39. 4. 1	1,300

3 自主防災組織

(1) 結成状況

市 町 村 別		行 政 区 数	結成行政区数	結 成 率 (%)
相 馬 市		77	73	94.8
南 相 馬 市	原 町 区	101	92	91.1
	小 高 区	39	39	100.0
	鹿 島 区	40	40	100.0
	小 計	180	171	95.0
新 地 町		15	15	100.0
飯 舘 村		20	20	100.0
合 計		292	279	95.5

(2)市町村別組織一覧

相馬市

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	細田地区自主防災自衛団	S63. 1. 3	37	尾 浜 地 区 防 災 会	H14. 7. 1
2	上 古 金 自 主 防 災 会	H13. 4. 1	38	北 原 釜 地 区 防 災 会	H14. 7. 1
3	石 上 地 区 自 主 防 災 会	H13. 3. 11	39	南 原 釜 地 区 防 災 会	H14. 7. 1
4	相 馬 市 椎 木 自 治 会	H13. 4. 14	40	台 町 地 区 自 主 防 災 会	H14. 7. 12
5	雇用促進住宅自主防災会	H13. 4. 15	41	八 幡 地 区 防 災 会	H14. 8. 1
6	塚 部 防 災 会	H13. 4. 1	42	中村西部第一区防災会	H14. 7. 22
7	鎗 町 地 区 自 主 防 災 会	H13. 5. 27	43	磯 部 大 洲 防 災 会	H14. 8. 1
8	初 野 防 災 会	H13. 6. 15	44	松 川 地 区 防 災 会	H14. 8. 1
9	荒井町自主防災会(中村西部5区)	H13. 6. 20	45	馬 場 野 防 災 会	H14. 8. 1
10	袋町親交会自主防災会	H13. 6. 21	46	程 田 防 災 会	H14. 8. 1
11	台 行 政 区 自 主 防 災 会	H13. 6. 27	47	中村西部第2区防災会	H14. 7. 27
12	岩 子 地 区 防 災 会	H13. 5. 1	48	山 岸 自 主 防 災 会	H14. 8. 1
13	玉野地区自主防災会(四行政区)	H13. 8. 19	49	今 田 防 災 会	H14. 7. 31
14	金 谷 原 防 災 会	H13. 9. 1	50	栗 津 防 災 会	H14. 8. 14
15	高 松 地 区 自 主 防 災 会	H13. 7. 8	51	物 倉 防 災 会	H14. 8. 18
16	黒 木 地 域 防 災 会	H13. 10. 19	52	大 上 防 災 会	H14. 8. 19
17	日 下 石 防 災 会	H13. 4. 1	53	小 田 原 防 災 会	H14. 8. 19
18	立 谷 防 災 会	H13. 9. 30	54	並 木 防 災 会	H14. 8. 19
19	上 立 谷 防 災 会	H13. 11. 1	55	中村西部第11区防災会	H14. 7. 15
20	上 赤 木 防 災 会	H13. 11. 1	56	中 平 防 災 会	H14. 8. 26
21	下 赤 木 防 災 会	H13. 11. 1	57	柏 崎 地 区 防 災 会	H14. 8. 5
22	柚 木 防 災 会	H13. 10. 8	58	新 田 防 災 会	H14. 9. 1
23	獺庭地区防災会(磯部第1区)	H14. 2. 24	59	百 槻 自 治 会 防 災 会	H14. 10. 1
24	立切防災会(磯部第1区)	H14. 3. 6	60	坪 ヶ 迫 自 主 防 災 会	H14. 9. 1
25	蒲 庭 地 区 防 災 会	H14. 3. 6	61	北 飯 渕 防 災 会	H14. 9. 14
26	磯 部 第 4 区 自 主 防 災 会	H14. 3. 7	62	南 飯 渕 防 災 会	H14. 10. 1
27	成 田 地 区 自 主 防 災 会	H14. 1. 27	63	小 野 地 区 自 主 防 災 会	H14. 9. 15
28	磯 部 芹 谷 地 区 防 災 会	H14. 4. 1	64	駅 東 中 部 5 区 防 災 会	H14. 10. 20
29	向 町 防 災 組 織	H14. 4. 1	65	本 笑 防 災 会	H15. 1. 2
30	大 坪 地 区 自 主 防 災 会	H14. 1. 16	66	刈 敷 田 地 区 防 災 会	H15. 2. 23
31	横 川 自 主 防 災 会	H14. 4. 1	67	中村西部10区自主防災会	H15. 3. 30
32	緑 ヶ 丘 団 地 防 災 会	H14. 5. 1	68	中村西部第9区防災会	H15. 2. 16
33	西 部 1 2 区 防 災 会	H14. 5. 20	69	和 田 地 区 防 災 会	H16. 9. 11
34	新沼・北小泉地区防災会	H14. 6. 20	70	駅前新和会自主防災会(中村西部5区)	H17. 9. 1
35	富 沢 防 災 会	H14. 4. 1	71	中村西部6区自主防災会	H18. 9. 1
36	須 萱 防 災 会	H14. 7. 1	72	中村西部8区防災会	H20. 7. 1

南相馬市（原町区）

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	小 沢 防 災 会	S 62. 3. 1	35	雲 雀 ヲ 原 一 防 災 会	H14. 7. 1
2	深 野 防 災 会	H12. 4. 1	36	陣 ヲ 崎 一 防 災 会	H14. 7. 1
3	栄 町 一 防 災 会	H12. 5. 11	37	下 高 平 防 災 会	H14. 8. 25
4	馬 場 防 災 会	H12. 8. 1	38	上 渋 佐 防 災 会	H14. 9. 10
5	泉 防 災 会	H13. 4. 22	39	金 沢 防 災 会	H14. 10. 5
6	二 見 町 一 防 災 会	H13. 4. 1	40	高 見 町 防 災 会	H14. 12. 1
7	雲 雀 ヲ 原 三 防 災 会	H13. 4. 1	41	長 野 防 災 会	H15. 3. 16
8	青 葉 町 防 災 会	H13. 4. 1	42	橋 本 町 四 防 災 会	H15. 4. 1
9	大 甕 上 防 災 会	H13. 6. 1	43	西 町 防 災 会	H15. 4. 1
10	大 木 戸 一 防 災 会	H13. 9. 1	44	北 原 防 災 会	H15. 4. 1
11	仲 町 一 防 災 会	H13. 11. 1	45	二 見 町 二 防 災 会	H15. 4. 1
12	東 町 二 防 災 会	H13. 12. 1	46	北 泉 防 災 会	H15. 4. 1
13	大 甕 下 防 災 会	H14. 3. 3	47	上 町 防 災 会	H15. 4. 1
14	石 神 防 災 会	H14. 4. 1	48	上 高 平 二 防 災 会	H15. 4. 1
15	押 釜 防 災 会	H14. 4. 1	49	下 太 田 防 災 会	H15. 4. 1
16	大 谷 防 災 会	H14. 4. 1	50	橋 本 町 三 防 災 会	H15. 4. 1
17	仲 町 三 防 災 会	H14. 4. 1	51	南 町 三 防 災 会	H15. 4. 1
18	下 北 高 平 防 災 会	H14. 4. 1	52	益 田 防 災 会	H15. 4. 1
19	江 井 防 災 会	H14. 4. 1	53	旭 町 二 防 災 会	H15. 4. 30
20	桜 井 町 一 防 災 会	H14. 4. 1	54	南 町 二 防 災 会	H15. 5. 15
21	萱 浜 防 災 会	H14. 4. 1	55	北 新 田 防 災 会	H15. 5. 30
22	雫 防 災 会	H14. 4. 1	56	高 倉 防 災 会	H15. 7. 1
23	北 萱 浜 防 災 会	H14. 4. 1	57	東 町 一 防 災 会	H15. 7. 13
24	小 浜 防 災 会	H14. 4. 1	58	錦 町 二 防 災 会	H15. 8. 1
25	日 の 出 町 防 災 会	H14. 4. 1	59	北 長 野 防 災 会	H15. 10. 1
26	大 原 防 災 会	H14. 4. 1	60	仲 町 二 防 災 会	H15. 11. 1
27	雲 雀 ヲ 原 二 防 災 会	H14. 4. 1	61	堤 谷 防 災 会	H16. 1. 1
28	鶴 谷 防 災 会	H14. 4. 1	62	上 北 高 平 一 防 災 会	H16. 1. 19
29	中 太 田 防 災 会	H14. 4. 1	63	上 北 高 平 二 防 災 会	H16. 1. 28
30	上 太 田 防 災 会	H14. 4. 1	64	上 高 平 一 防 災 会	H16. 2. 1
31	本 陣 前 三 防 災 会	H14. 4. 1	65	信 田 沢 防 災 会	H16. 2. 1
32	高 防 災 会	H14. 4. 14	66	牛 越 防 災 会	H16. 4. 1
※	（ 高 一 ・ 高 二 行 政 区 ）		67	下 渋 佐 防 災 会	H16. 4. 1
33	国 見 町 防 災 会 （国見町一・国見町二行政区） （国見町三・国見団地一行政区）	H14. 5. 21	68	南 町 一 行 政 区 防 災 会	H16. 4. 16
※			69	大 木 戸 防 災 会	H16. 6. 30
			70	下 江 井 防 災 会	H16. 8. 17
			71	矢 川 原 防 災 会	H16. 10. 1
34	上 北 高 平 三 防 災 会	H14. 6. 1	72	旭 町 一 防 災 会	H17. 4. 1

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
73	橋 本 町 二 防 災 会	H17. 4. 1	80	北 町 一 防 災 会	H20. 6. 1
74	桜 井 町 二 防 災 会	H17. 4. 1	81	北 町 二 行 政 区 防 災 会	H20. 7. 1
75	小 川 町 自 主 防 災 会	H17. 4. 1	82	本 町 一 丁 目 防 災 会	H20. 9. 1
76	橋本町一丁目自主防災会	H17. 4. 15	83	小 木 迫 自 主 防 災 会	H21. 4. 1
77	片 倉 自 主 防 災 会	H19. 3. 1	84	陣ヶ崎二区防災会	H21. 4. 1
78	三 島 町 自 主 防 災 会	H19. 4. 14	85	本 町 二 区 防 災 会	H21. 4. 1
※	(三島町一・三島町二行政区)		86	南 四 防 災 会	H21. 4. 1
79	錦 町 一 区 自 主 防 災 会	H20. 4. 1	87	本 町 三 防 災 会	H21.10. 1

※は合同で防災会を結成しており、行政区としては92である。

南相馬市（小高区）

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	塚 原 地 区 防 災 会	H 2. 4. 1	21	大 田 和 防 災 会	H14. 4. 1
2	一 区 防 災 会	H13. 4. 1	22	南 鳩 原 地 区 防 災 会	H14. 4. 1
3	二 区 防 災 会	H12.11. 1	23	金 谷 防 災 会	H14. 4. 1
4	三 区 防 災 会	H12.11. 1	24	摩 辰 防 災 会	H14. 4. 1
5	四 区 防 災 会	H12. 9. 1	25	女 場 自 主 防 災 会	H14. 4. 1
6	下 蛭 沢 防 災 会	H13. 9. 1	26	飯 崎 行 政 区 防 災 会	H14. 6. 1
7	五 区 防 災 会	H13. 9. 1	27	福 岡 防 災 会	H14. 6. 1
8	下 浦 防 災 会	H13.11. 1	28	小 高 防 災 会	H14. 6. 1
9	泉 沢 防 災 会	H13.11. 1	29	羽 倉 防 災 会	H14. 6. 1
10	岡田行政区自主防災会	H13.12. 1	30	大 富 防 災 会	H14. 8. 1
11	浦 尻 防 災 会	H14. 1. 1	31	角 間 沢 自 主 防 災 会	H14. 8. 1
12	行 津 防 災 会	H14. 1. 1	32	角 部 内 防 災 会	H14. 9. 1
13	小 屋 木 防 災 会	H14. 2. 1	33	大 井 防 災 会	H14. 9. 1
14	川 房 行 政 区 防 災 会	H14. 2. 1	34	村 上 自 主 防 災 会	H14. 9. 1
15	片 草 防 災 会	H14. 3. 1	35	上 蛭 沢 防 災 会	H14. 9.10
16	吉 名 防 災 会	H14. 4. 1	36	川 原 田 自 主 防 災 会	H14.11. 1
17	北 鳩 原 防 災 会	H14. 4. 1	37	井田川行政区自主防災会	H14.10. 1
18	小 谷 防 災 会	H14. 4. 1	38	下 耳 谷 自 主 防 災 会	H15. 6. 1
19	上 浦 防 災 会	H14. 4. 1	39	上 耳 谷 自 主 防 災 会	H15. 9. 1
20	神 山 行 政 区 防 災 会	H14. 4. 1			

南相馬市（鹿島区）

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	小 山 田 防 災 会	H12. 6. 30	7	南 柚 木 防 災 会	H12. 9. 1
2	南 屋 形 防 災 会	H12. 7. 20	8	大 谷 地 防 災 会	H12. 9.13
3	港 防 災 会	H12. 8. 7	9	寺 内 防 災 会	H12. 9.27
4	江 垂 防 災 会	H12. 8.21	10	北 海 老 防 災 会	H12.10. 1
5	上 寺 内 防 災 会	H12. 9. 1	11	車 川 防 災 会	H12.10.13
6	塩 崎 防 災 会	H12. 9. 1	12	永 田 防 災 会	H12.10.18

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
13	白 坂 防 災 会	H12. 10. 20	27	南 海 老 防 災 会	H13. 9. 1
14	御 山 防 災 会	H12. 12. 1	28	浮 田 防 災 会	H13. 9. 2
15	檜 原 防 災 会	H12. 12. 23	29	町 三 区 防 災 会	H13. 9. 4
16	上 栃 窪 防 災 会	H12. 12. 24	30	横 手 防 災 会	H13. 10. 1
17	川 子 防 災 会	H12. 12. 26	31	牛 河 内 防 災 会	H13. 11. 1
18	北 屋 形 防 災 会	H13. 1. 24	32	山 下 防 災 会	H13. 11. 7
19	栃 窪 防 災 会	H13. 3. 25	33	岡 和 田 防 災 会	H13. 12. 1
20	角 川 原 防 災 会	H13. 4. 1	34	町 四 区 防 災 会	H14. 3. 22
21	北 右 田 防 災 会	H13. 6. 1	35	西 町 防 災 会	H14. 4. 1
22	台 田 中 防 災 会	H13. 6. 11	36	烏 崎 防 災 会	H14. 4. 1
23	南 右 田 防 災 会	H13. 6. 21	37	新 町 防 災 会	H14. 4. 10
24	大 内 防 災 会	H13. 7. 5	38	町 一 区 防 災 会	H14. 4. 10
25	永 渡 防 災 会	H13. 8. 1	39	町 二 区 防 災 会	H14. 7. 29
26	小 池 防 災 会	H13. 8. 1	40	小 島 田 防 災 会	H14. 8. 6

新地町

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	第 5 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 3. 4	5-2	第7行政区自主防災会(中島地区)	H14. 7. 15
2	第 14 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 3. 5	9	第 12 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 8. 12
3	第 9 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 4. 12	10	第 6 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 8. 30
4	第 15 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 4. 23	11	第 3 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 10. 4
5-1	第7行政区自主防災会(町地区)	H14. 5. 17	12	第 10 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 10. 28
6	第 11 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 5. 25	13	第 13 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 10. 28
7	第 8 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 6. 6	14	第 2 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 10. 29
8	第 4 行 政 区 自 主 防 災 会	H14. 7. 1	15	第 1 行 政 区 自 主 防 災 会	H15. 2. 13

飯舘村

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	宮 内 防 災 会	H12. 9. 3	11	八 木 沢 ・ 芦 原 防 災 会	H13. 7. 1
2	小 宮 防 災 会	H12. 9. 10	12	20 区 防 災 会	H13. 8. 5
3	飯 樋 町 防 災 会	H13. 3. 25	13	上 飯 樋 防 災 会	H14. 3. 24
4	深 谷 防 災 会	H13. 3. 25	14	蔵 平 防 災 会	H14. 4. 1
5	伊 丹 沢 防 災 会	H13. 4. 17	15	草 野 防 災 会	H14. 4. 1
6	前 田 防 災 会	H13. 4. 19	16	大 久 保 ・ 外 内 防 災 会	H14. 4. 1
7	長 泥 防 災 会	H13. 4. 1	17	大 倉 防 災 会	H14. 4. 1
8	関 根 ・ 松 塚 防 災 会	H13. 5. 27	18	11 区 防 災 会	H14. 4. 1
9	比 曾 防 災 会	H13. 6. 3	19	臼 石 自 主 防 災 会	H14. 7. 2
10	関 沢 防 災 会	H13. 6. 3	20	佐 須 自 主 防 災 会	H14. 10. 14

市町村別消防クラブ等結成状況

(平成29年4月 1 日現在)

区 分 市町村	幼 年 消 防 ク ラ ブ	少 年 消 防 ク ラ ブ	女 性 消 防 隊	計
相 馬 市	816 (12)	1, 193 (9)	6, 572 (1)	8, 581 (22)
原 町 区	492 (8)	501 (8)	10, 492 (1)	11, 485 (17)
小 高 区	3 (1)	36 (4)	3, 484 (1)	3, 523 (6)
鹿 島 区	199 (4)	134 (4)	2, 104 (1)	2, 437 (11)
新 地 町	118 (3)	183 (4)	2, 609 (1)	2, 910 (8)
飯 舘 村	70 (2)	78 (3)	1, 300 (1)	1, 448 (6)
計	1, 698 (30)	2, 125 (32)	26, 561 (6)	30, 384 (70)

※ () は組織数を示す。

平成 2 8 年

消 防 年 報

発 行 平成 29 年 6 月

発 行 者

〒975－0033

福島県南相馬市原町区高見町一丁目 272 番地
相 馬 地 方 広 域 消 防 本 部

TEL 0244－22－4164

FAX 0244－22－5790

《編集》 総 務 課
